



TerioStation

ユーザーズマニュアル

Revision 1.6

Copyright© 2015 株式会社 OKI データ・インフォテック

無断転載を禁じます。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

TerioStation は株式会社 OKI データ・インフォテックの登録商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名はそれぞれの会社の登録商標、または商標です。

はじめに

このドキュメントは、TerioStation の機能と使用方法について説明します。

TerioStation とは

TerioStation は、Microsoft Windows®上で稼動する最新のユーザーインタフェースを備えた弊社印刷装置（プリンター）用統合ソフトウェアです。

主な機能としては、画像（TIFF/JPEG/PNG/BMP）、図面データ（HP-GL/HP-GL2/HP RTL）、そして PDF のビューイング機能、印刷機能、スキャンファイル機能、スキャンコピー機能があります。

PDF Print 機能をご利用される場合は、LP-874 TerioStation PDF Print を別途ご購入ください。

＜主な機能とファイル形式の対応表＞

機能	ファイル種類							
	TIFF	JPEG	PNG	BMP	HP-GL	HP-GL2	HP RTL	PDF
表示	○	○	○	○	○	○	○	○
プリント	○	○	○	○	○	○	○	○
スキャン	○	○	×	×	×	×	×	○
PDF Print（表示）	○	○	○	○	○	○	○	◎
PDF Print（プリント）	○	○	○	○	○	○	○	◎

TerioStation は以下のソフトウェアを利用しています。

ABCpdf .NET 7J

Copyright © 2009 WebSupergoo.

ImageKit7 ActiveX

Copyright © 2006 Newtone Corporation.

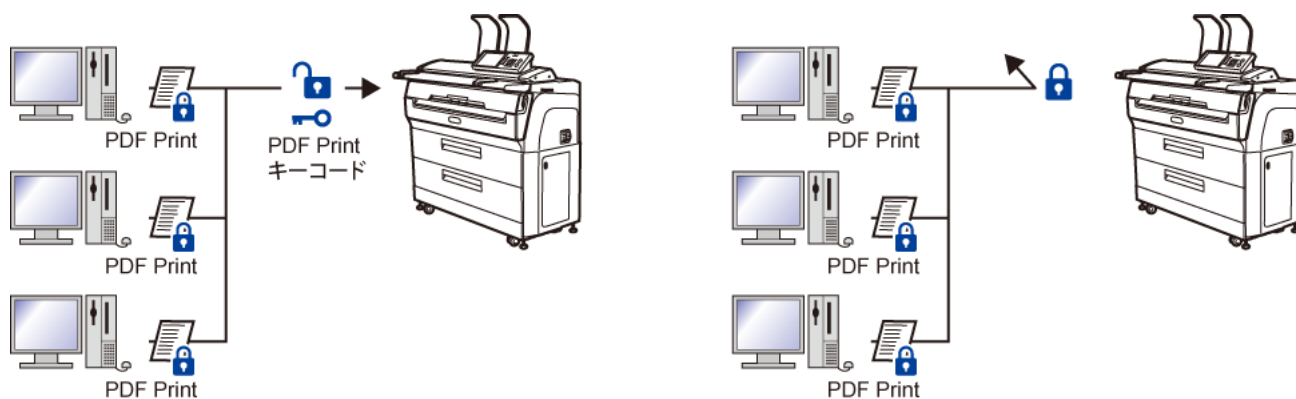
Harlequin Host Renderer

Copyright © 1989-2007 Global Graphics Software Ltd.

PDF Print 機能とは

PDF Print 機能は、RIP コアに Global Graphics Software Ltd. 製の Harlequin Host Renderer を採用し、PDF の高速な処理を可能にするオプションです。

プリンターにキーコードを登録することにより、PDF Print を使用することができます。



目次

1 章	TerioStation の画面構成と主な機能	10
2 章	ビュー機能	12
2.1	ビューの画面構成	12
2.2	ビューのメニュー	14
2.2.1	ファイル	14
2.2.2	編集	15
2.2.3	プリント	16
2.2.4	ズーム	17
2.2.5	イメージ	19
2.2.6	ページ	21
2.2.7	カラーモード	21
2.3	ビューにおける編集の活用について	22
2.4	ビューにおけるファイルリストの活用について	25
3 章	プリント	26
3.1	プリントの画面構成	26
3.2	プリントのメニュー	28
3.2.1	送信先	28
3.2.2	ジョブ	28
3.2.3	プリントパラメータ	29
3.2.4	認証プリント	32
3.3	プリントにおけるファイルリストの活用について	35
3.4	プリントにおけるジョブリストの活用について	36
3.4.1	印刷設定	36
3.4.2	リストから削除	37
3.4.3	表示項目設定	37

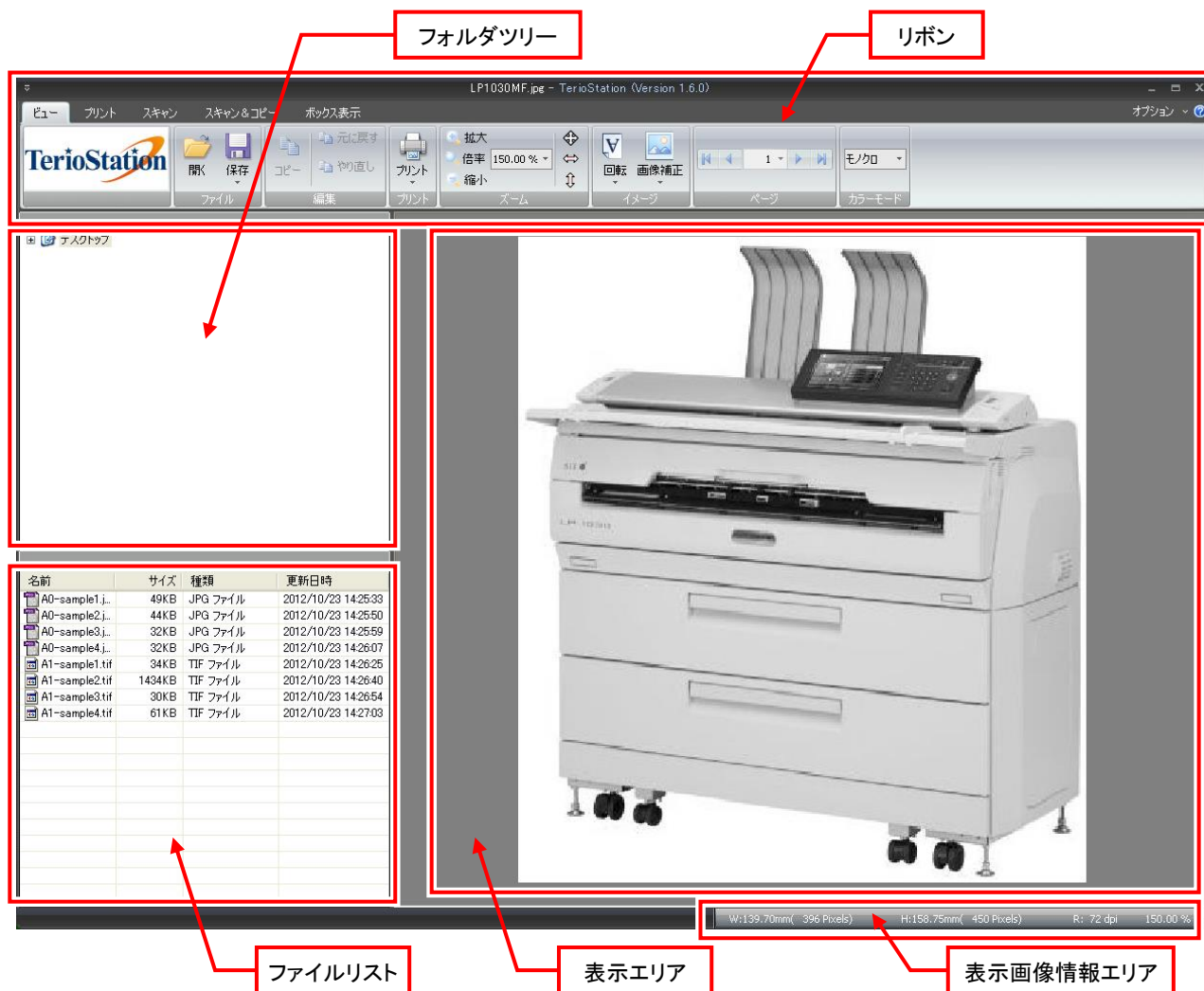
3.5	印刷設定の詳細.....	38
3.5.1	用紙サイズの選択.....	38
3.5.2	拡大・縮小を行う.....	40
3.5.3	給紙方法.....	41
3.5.4	印刷範囲.....	41
3.5.5	部数.....	42
3.5.6	ハーフトーン.....	42
4 章	スキャン	43
4.1	スキャンの画面構成.....	43
4.2	スキャンのメニュー.....	45
4.3	ファイル.....	45
4.4	スキャンパラメータ.....	47
4.5	動作設定.....	49
4.6	スキャンプリセット機能.....	51
4.6.1	プリセット登録.....	51
4.6.2	プリセット呼出し.....	52
5 章	スキャン&コピー	53
5.1	スキャン&コピーの画面構成.....	53
5.2	スキャン&コピーのメニュー.....	55
5.2.1	送信先.....	55
5.2.2	スキャンパラメータ.....	55
5.2.3	プリントパラメータ.....	57
5.2.4	動作設定.....	57
6 章	ボックス表示	58
6.1	ボックス表示の画面構成.....	58
6.2	ボックス表示のメニュー.....	59
6.2.1	プリンター名.....	59
6.2.2	配信ボックス.....	59
6.2.3	PDF ボックス.....	59
6.2.4	ログオフ.....	59
6.3	配信ボックスの操作.....	60
6.4	PDF ボックスの操作.....	63

7 章	オプション設定	67
7.1	印刷設定.....	68
7.1.1	送信先一覧	68
7.1.2	系列選択.....	69
7.1.3	単位	69
7.1.4	デフォルトハーフトーン	70
7.2	PDF 設定.....	71
7.2.1	PDF 動作モード.....	71
7.2.2	表示解像度	71
7.2.3	標準モード設定	72
7.2.4	PDF Print オプションモード設定.....	73
7.3	スキャン設定	74
7.3.1	スキャナーモデル	74
7.3.2	テンポラリーフォルダを変更する	74
7.3.3	JPEG.....	74
7.4	タブ/ボックス表示設定	75
7.4.1	タブ表示設定.....	75
7.4.2	ボックス表示設定	76
7.5	表示ファイル形式	77
8 章	TerioStation PDF Print 機能	78
8.1	特徴.....	78
8.2	運用形態.....	78
8.3	サポートされるPDF	78
8.4	フォントについて	79
9 章	トラブルシューティング	80
10 章	注意事項	83
10.1	取り込んだ画像データ(TIFF)ファイルの印刷について	83
10.2	市販アプリケーションでのご利用について	83
10.3	モノクロ TIFF ファイルについて.....	83
10.4	ノイズ除去処理について	83

11 章	TerioStation における各種印刷の設定例	84
11.1	36x22 inch の PDF ファイルを定型サイズで印刷する場合	84
11.2	36x22 inch の PDF ファイルを実長サイズで印刷する場合	85
11.3	ARCH D サイズの PDF ファイルを ARCH B 用紙に印刷する場合	86
11.4	「ロール 2」の「18 inch ロール」で、ARCH 系列の定型サイズに フィットして印刷する場合	87

1章 TerioStation の画面構成と主な機能

◆ 全画面



◆ リボン



TerioStation では、リボンの中のタブを選択することによって、以下の各種機能を使用することができます。

＜主な機能＞

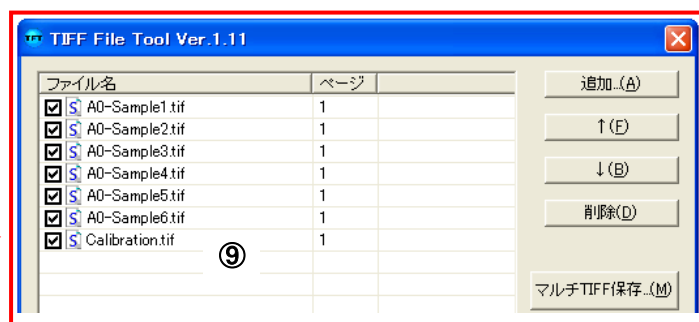
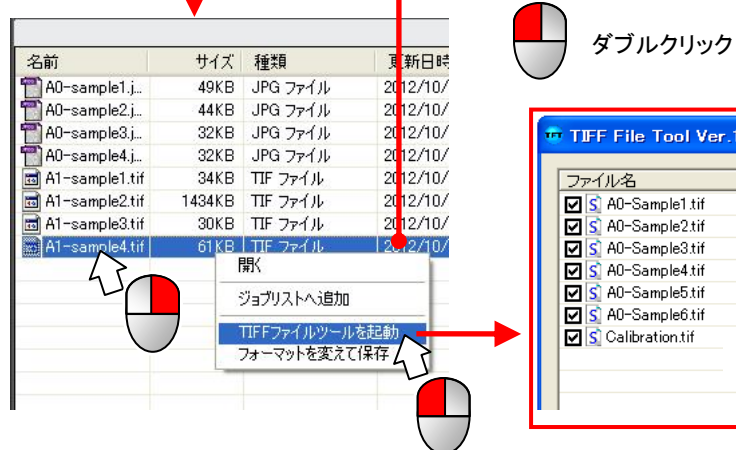
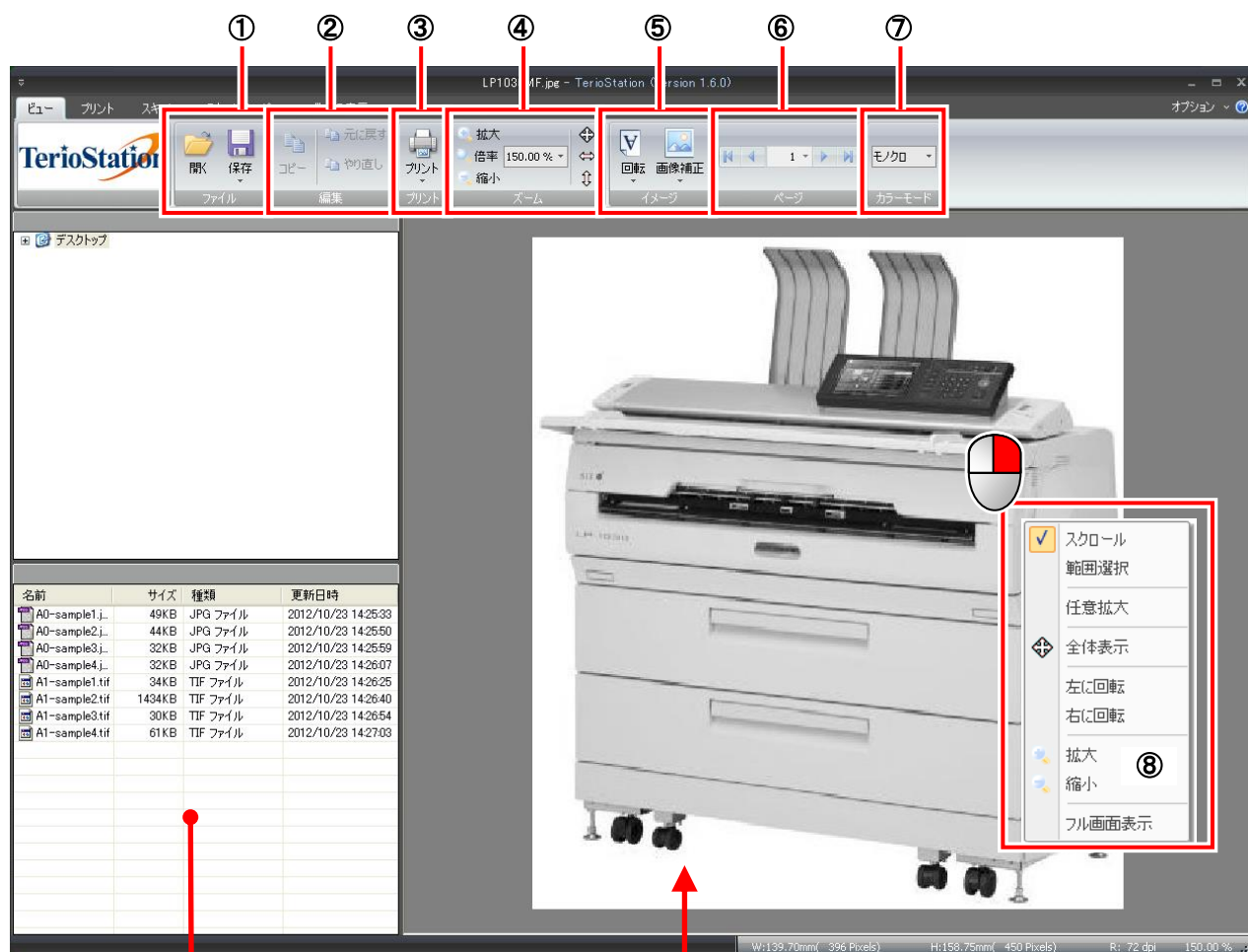
タブ	機能
ビュー	表示、印刷、編集、保存、および異なるファイル形式での保存ができます。
プリント	バッチ印刷と簡単なジョブ管理ができます。
スキャン ※	スキャンを行い、ファイルとして保存ができます。
スキャン＆コピー ※	スキャンを行い、指定したプリンターで印刷ができます。
ボックス表示 ※	プリンターの配信ボックスと PDfF ボックスに接続することができます。





※ タブ内の「ビュー」、「プリント」はデフォルトで表示されます。

「スキャン」、「スキャン＆コピー」、「ボックス表示」をタブに表示させる場合は、オプション設定の「タブ/ボックス表示設定」で設定してください。

2章 ビュー機能

2.1 ビューの画面構成



No.	グループ	操作	説明	参照ページ
①	ファイル	開く 保存	表示するファイルを開きます。 表示内容を画像として保存します。	p. 14 p. 14
②	編集	コピー 元に戻す やり直し	選択した領域をコピーします。 表示内容を、直前の状態に戻します。 編集した画像をやり直します。	p. 15 p. 15 p. 15
③	プリント	プリント	表示内容を印刷します。	p. 16
④	ズーム	拡大 倍率 縮小   	表示を拡大します。 表示倍率を指定します。 表示を縮小します。 全体表示にします。 画像を横サイズに合わせて表示します。 画像を縦サイズに合わせて表示します。	p. 17 p. 17 p. 17 p. 17 p. 17 p. 18
⑤	イメージ	回転 画像補正	画像を回転します。 画像を補正・調整します。	p. 19 p. 19
⑥	ページ		マルチページの場合にページを選択します。	p. 21
⑦	カラーモード	モノクロ／カラー	表示する画像のカラーモードを選択します。	p. 21
⑧		画像編集メニュー	表示エリアで右クリックすると、表示されます。	p. 22
⑨		TIFF File Tool	リスト上で右クリック→「TIFF ファイルツールを起動」で表示されます。	p. 25

2.2 ビューのメニュー

各種画像・図面データのファイルをビューイングすることができます。
また、簡単な画像データの加工や印刷を行うことができます。



2.2.1 ファイル

◆ 開く

表示するファイルを開きます。



参考

表示できる原稿のファイル形式は、TIFF/JPEG/PNG/PDF/BMP/HPGL/HPGL2/RTL です。

◆ 保存

表示内容を画像として保存します。
保存方法は以下の 3 通りです。

(1) 保存

原稿が表示した解像度で上書き保存されます。

(2) 別名で保存

ファイル名を変更して保存できます。

(3) フォーマットを変えて保存

ファイル形式を変更して保存できます。



注意

TIFF/BMP/PNG/PDF の形式で保存できます。
HPGL/HPGL2/RTL への保存はできません。

2.2.2 編集

◆ コピー

選択範囲を指定してコピーした画像を、クリップボードに一時保存します。



◆ 元に戻す

直前に編集した画像データを元に戻します。



◆ やり直し

編集した画像データをやり直します。



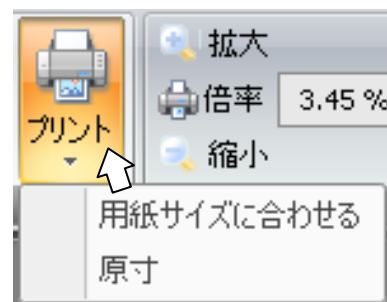
2.2.3 プリント

用紙サイズに合わせる

表示内容を、用紙サイズに合わせて、拡大・縮小して印刷します。

原寸

表示内容を、原寸で印刷します。



参考

- ・ 印刷は、Windows Printer Driver を使用して行われます。
- ・ 印刷できる原稿のファイル形式は、TIFF/PNG/PDF/BMP/JPEG です。



注意

原稿のファイル形式が HPGL/HPGL2/RTL の場合は、印刷はできません。

2.2.4 ズーム

◆ 拡大

画像データを拡大します。



◆ 倍率

画像データを倍率に応じて表示します。



参考

プルダウンメニューで指定できる倍率は、25%, 50%, 75%, 100%, 150%, 200%, 300%, 400% です。
手動で入力する場合は、1%~1600%までの間で設定できます。



◆ 縮小

画像データを縮小します。



◆ 全体表示

画像データをビューに合わせて表示します。



◆ 横サイズに合わせて表示

画像データを横サイズに合わせて表示します。



◆ 縦サイズに合わせて表示

画像データを縦サイズに合わせて表示します。



2.2.5 イメージ

◆ 回転

画像データを回転します。

(1) 左に回転

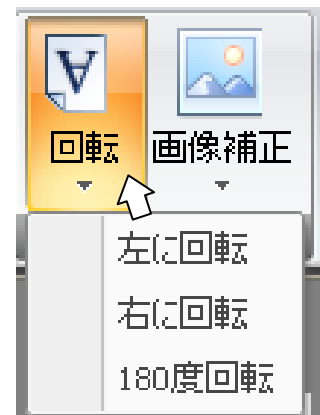
画像データを反時計回りに 90 度回転します。

(2) 右に回転

画像データを時計回りに 90 度回転します。

(3) 180 度回転

画像データを 180 度回転します。



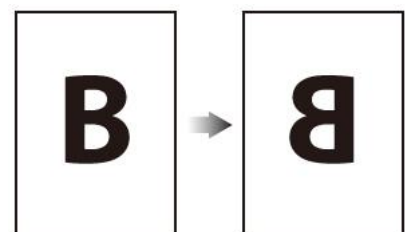
◆ 画像補正

画像データを補正・調整します。



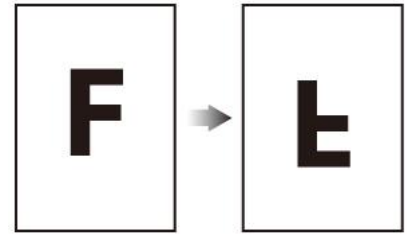
(1) 水平方向に反転

画像データを左右ミラー反転します。



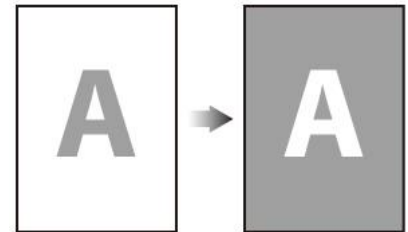
(2) 垂直方向に反転

画像データを上下ミラー反転します。



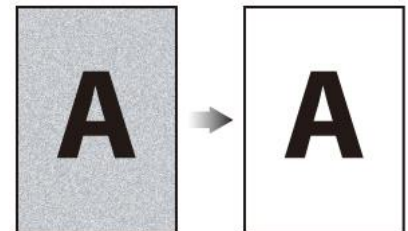
(3) 色調反転

画像データをネガポジ反転します。



(4) ノイズ除去

画像データのノイズを除去します。



(5) 傾き補正(自動)

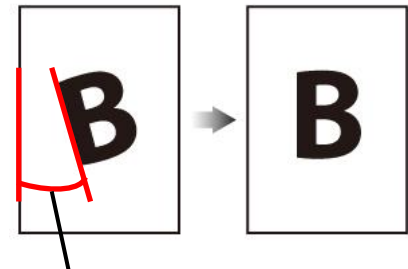
画像データを自動で傾き補正します。



参考

自動補正では、画像左側面と画像内の左端にある直線との角度を自動で検出し、補正します。

画像内の左端に直線がない場合は、自動補正されません。



角度を自動で検出する。

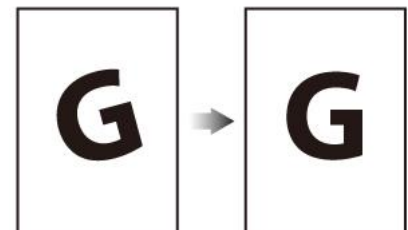
(6) 傾き補正(手動)

画像データを手動で傾き補正します。



参考

指定できる角度は、-359.9999 から 359.9999(度) です。



(7) インデックスカラー(256 色)

画像データをインデックスカラー256色に減色します。

(8) インデックスカラー(16色)

画像データをインデックスカラー16色に減色します。

2.2.6 ページ

◆ ページ選択

マルチページの場合にページを選択します。



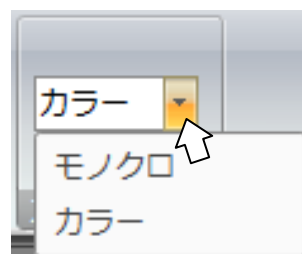
2.2.7 カラーモード

モノクロ

画像をモノクロで表示します(デフォルト設定)。

カラー

画像をカラーで表示します。



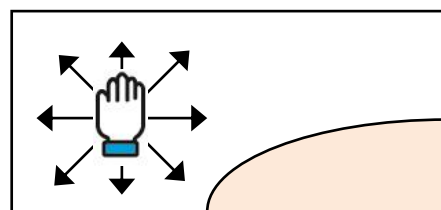
2.3 ビューにおける編集の活用について

マウスを右クリックすると、カーソルメニューが表示されます。
画像データが表示されていないとメニュー表示は行なわれません。



(1) スクロール

カーソルメニューの「スクロール」を選択し、マウスの左ボタンを押すと、ビューにハンドカーソルが表示されます。ビューより画像が大きい場合は、カーソルに連動して画像を移動できます。マウスの左ボタンを離すと、解除されます。

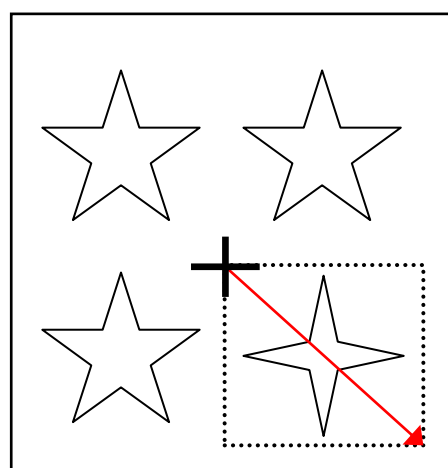


(2) 範囲選択

カーソルメニューの「範囲選択」を選択すると、ビューに十字カーソルが表示されます。マウスの左ボタンを押したまま移動すると矩形領域選択が実行されます。マウスの左ボタンを離すと、矩形領域が選択されている場合は、矩形が点線で表示されます。

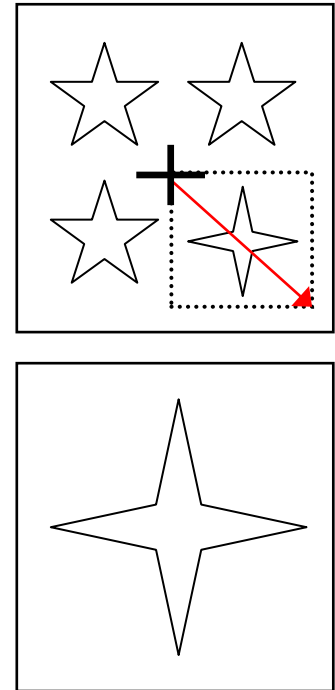
矩形が点線で表示されている間、「編集」の中の「コピー」が有効になります。「コピー」を押すことにより、クリップボードに矩形領域の画像データが保持されます。

マウスの左ボタンを押すと、矩形領域選択が解除されます。



(3) 任意拡大

カーソルメニューの「任意拡大」を選択すると、ビューに十字カーソルが表示されます。マウスの左ボタンを押したまま移動すると、矩形領域選択が実行されます。矩形は点線で表示され、マウスの左ボタンを離すと、選択された部分を拡大表示します。縦横どちらか長い方をビューの幅に合わせて拡大表示を行います。



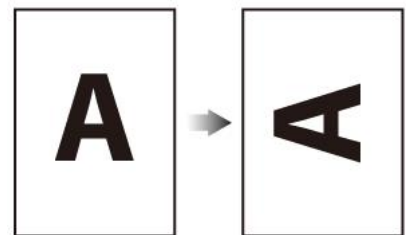
(4) 全体表示

画像データをビューに合わせて表示します。右画面の全体表示ボタンと同じ効果です。



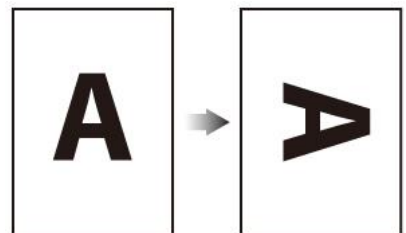
(5) 左に回転

画像データを反時計回りに 90 度回転します。



(6) 右に回転

画像データを時計回りに 90 度回転します。



(7) 拡大

画像データを拡大します。

右画面の拡大ボタンと同じ効果です。



(8) 縮小

画像データを縮小します。

右画面の縮小ボタンと同じ効果です。



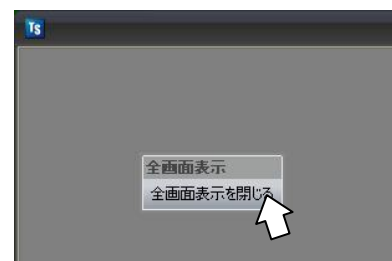
(9) フル画面表示

ビューのサイズをフル画面表示にします。

表示している画像データの倍率は変更されません。



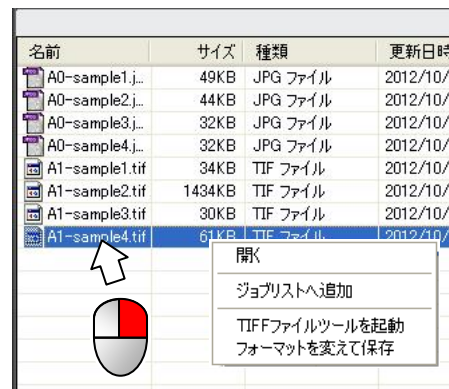
「全画面表示を閉じる」をクリック、もしくは F11 キーを押すと元に戻ります。



2.4 ビューにおけるファイルリストの活用について

リスト上で、マウスを右クリックすると、カーソルメニューが表示されます。

複数ファイルを選択したい場合は、「Ctrl + 左クリック」もしくは、「Shift + 左クリック」で選択します。



(1) 開く

選択したファイルをビューに表示します。

(2) ジョブリストへ追加

プリント機能のジョブリストへ選択したファイルを追加します。

(3) TIFF ファイルツールを起動

TIFF File Tool を起動します。



参考

TIFF File Tool はマルチページ TIFF を作成するツールです。

- ・ ページの並び順を編集することができます。
- ・ 選択したファイルが入っているフォルダを調べて、ファイルのリストを表示することができます。
- ・ リストから項目を選択してマルチページ TIFF を作成します。

(4) フォーマットを変えて保存

ファイルリストから選択したファイルのデータフォーマットを変更して保存します。



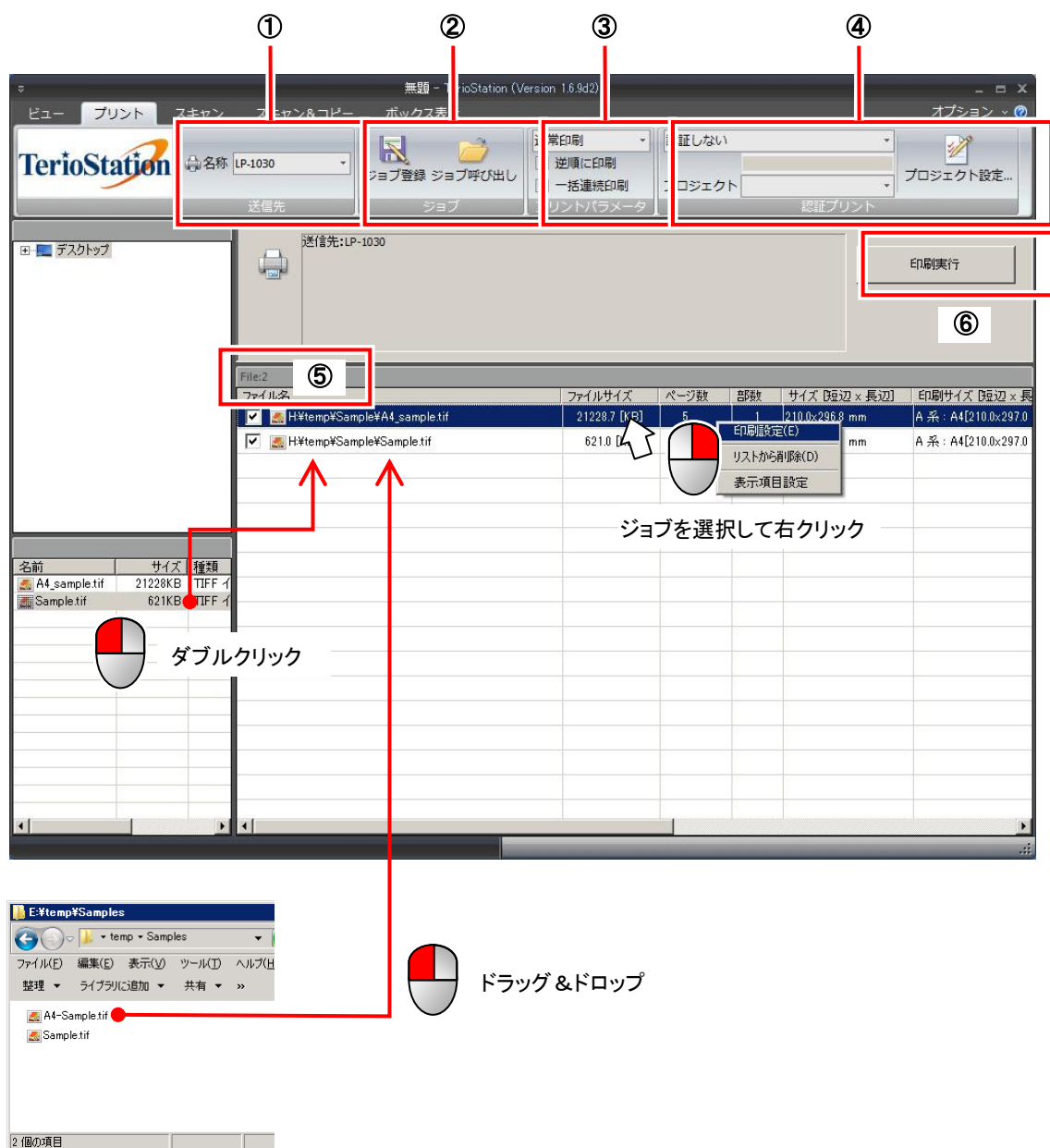
注意

HPGL/HPGL2/RTL は、フォーマットを変えて保存することができません。

3章 プリント

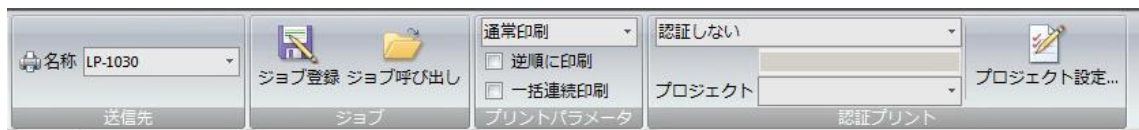
3.1 プリントの画面構成

ファイルリストから各種画像・図面ファイルを印刷することができます。ファイルをジョブリストに登録すると、画像データの情報が表示されます。ビュー機能からもファイルをジョブリストに追加することができます。



No.	グループ	操作	説明	参照ページ
①	送信先		プリンターを選択します。	p. 28
②	ジョブ	ジョブ登録	ジョブリストを保存します。	p. 28
		ジョブ呼び出し	保存したジョブリストを呼び出します。	p. 28
③	プリント パラメータ		プリントパラメータを設定します。	p. 29
④	認証プリント		認証設定を選択します。	p. 32
⑤		ファイル数	ジョブリストに登録されているファイル数を表示 します。	
⑥		印刷実行	ジョブリストに登録したファイルを印刷します。	

3.2 プrintのメニュー



3.2.1 送信先

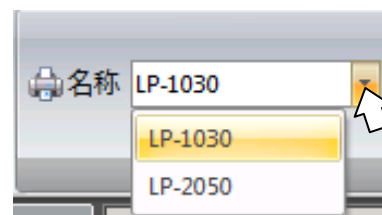
◆ プリンター選択

プリンターを選択します。



参考

オプションで設定したプリンターで印刷します。詳しくは、オプションのページを参照してください。



3.2.2 ジョブ

◆ ジョブ登録

ジョブリストを保存します。



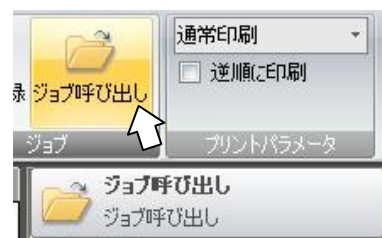
◆ ジョブ呼び出し

保存したジョブリストを読み込みます。



注意

ジョブ登録で保存した画像データの場所を変更しないでください。



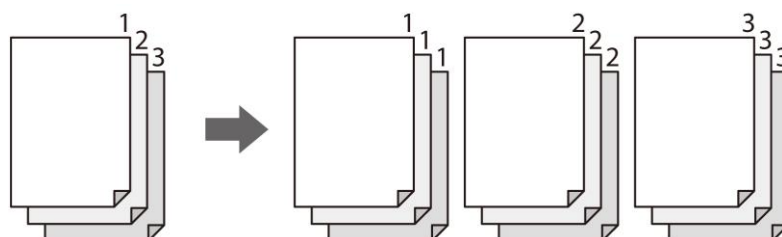
3.2.3 プリントパラメータ

プリントパラメータを設定します。



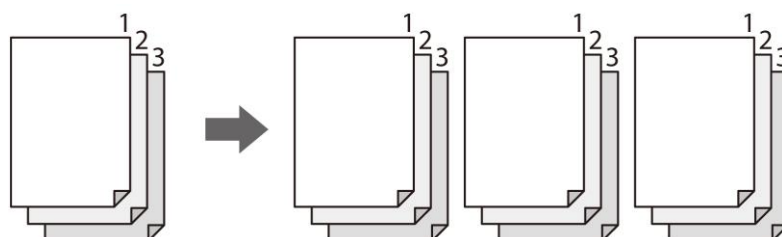
◆ 通常印刷

ジョブを通常印刷します。



◆ 丁合印刷

ジョブを丁合印刷します。

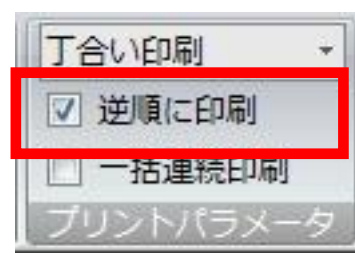
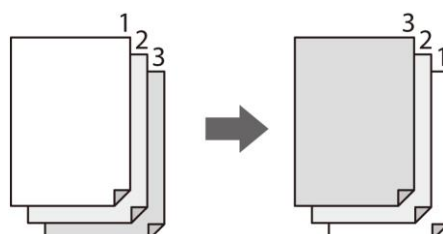


注意

複数のファイルで丁合印刷を行う場合、対象ファイルの部数は統一されます。ファイルごとに異なる部数を設定することはできません。

◆ 逆順に印刷

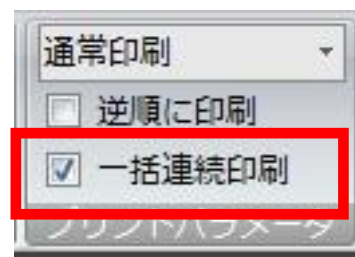
逆順に印刷します。



◆ 一括連続印刷

一括連続印刷をするか設定をします。

「一括連続印刷」にチェックを入れることにより、複数ファイルの一括印刷を行う際に、他のファイルが割り込むことなく連続印刷することができます。



参考

送信モードが XPT / lpr 設定の場合のみ有効です。

一括連続印刷をする全ファイルのページ総数は、最大 1000 ページです。

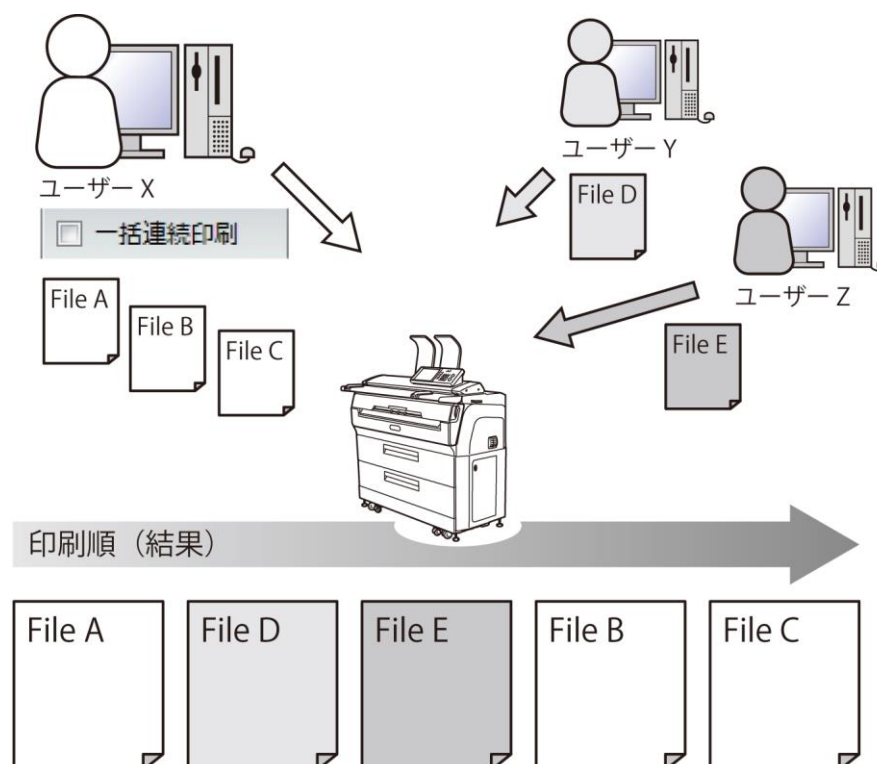


注意

一括連続印刷機能を使用した場合、本機能を使用しない場合に比べ、印刷完了までの時間が遅くなります。

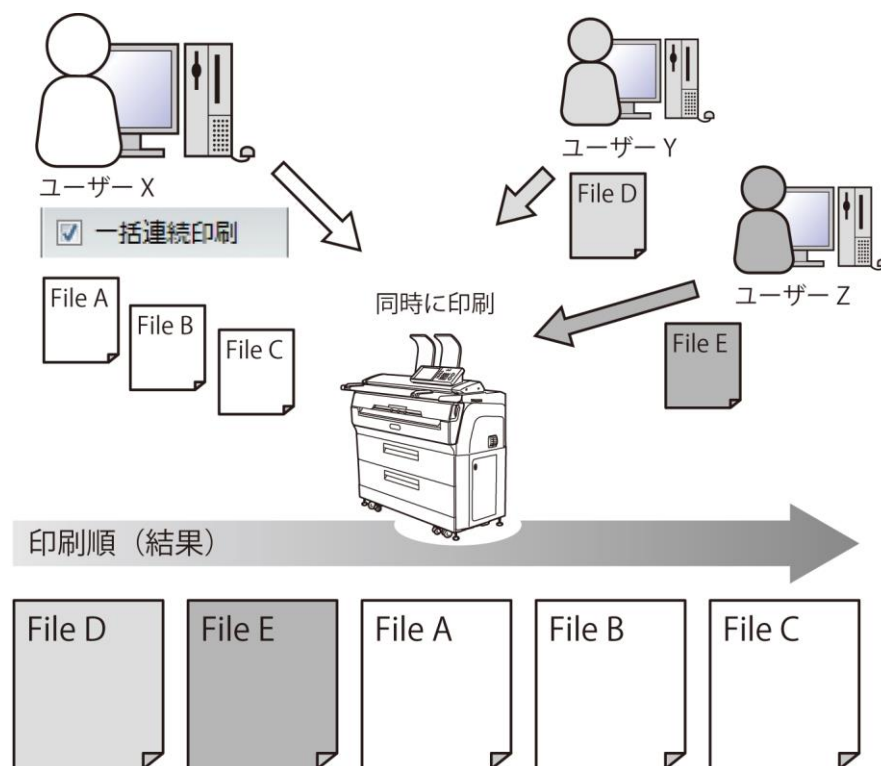
＜チェックを入れない場合＞

複数のファイルを印刷する際に、同時に同じ印刷装置に対して別ユーザーが印刷を行った場合、印刷結果（印刷した紙）が混ざって出力される場合があります。



＜チェックを入れた場合＞

一括連続印刷チェックボックスをオンにして印刷すると、印刷結果は混ざらず、自分が印刷した複数ファイルはまとまって印刷されます。



参考

印刷順は、データがプリンターに届くタイミングによって異なります。

3.2.4 認証プリント

プリンター本体で認証機能を設定している場合、各ユーザーに割り当てられた PIN コードまたはログイン名＋パスワードを入力することにより、プリントすることができます。

また、プリンター本体で認証機能を設定していない場合に機密性の高い文書をプリントする際、ワンタイムパスワードを設定することにより、プリントジョブをプリンター本体で保留させることができます。

さらに、プリントジョブにプロジェクトを指定することができます。認証機能と組み合わせることで、誰がどのプロジェクトで印刷したのかを集計することが可能です。

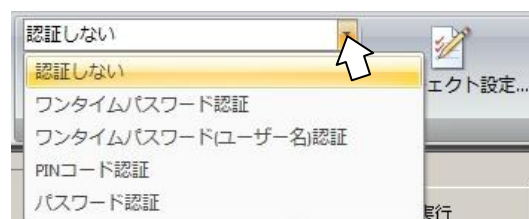


参考

送信モードが XPT / lpr 設定の場合のみ有効です。

◆ 認証方法選択

認証方法を選択します。



(1) 認証しない

プリンター本体で認証機能を設定していない場合のみ選択できます。



(2) ワンタイムパスワード認証

プリンター本体で認証機能を設定していない状態で、機密文書を印刷する場合、任意のパスワードを設定することにより、プリンター本体にプリントジョブを保留させます。

プリントを出力する場合は、プリンター本体のパネルで機密文書印刷を押し、ワンタイムパスワードを入力することで出力されます。

(3) ワンタイムパスワード(ユーザー名)認証

PC のユーザー名が自動で設定されます。

プリントを出力する場合は、プリンター本体のパネルで機密文書印刷を押し、PC のユーザー名を入力することで出力されます。

(4) PIN コード認証

プリンター本体でPINコードによる認証設定をしている場合、PINコードを入力することにより、プリントすることができます。



注意

PIN コードを割り当てられていないユーザーは、プリントすることができません。

(5) パスワード認証

プリンター本体でログイン名+パスワードによる認証設定をしている場合、ログイン名を入力することにより、プリントジョブを送信できます。

プリントを出力する場合は、プリンター本体のパネルで機密文書印刷を押し、パスワードを入力することで出力されます。



注意

ログイン名+パスワードを割り当てられていないユーザーは、プリントすることができません。

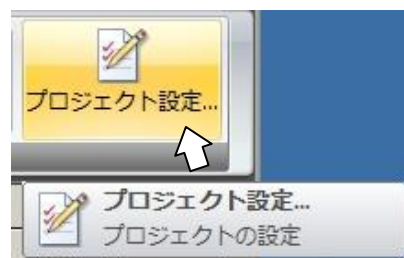
◆ プロジェクト設定

プロジェクトの追加、削除、プロジェクト名の変更ができます。

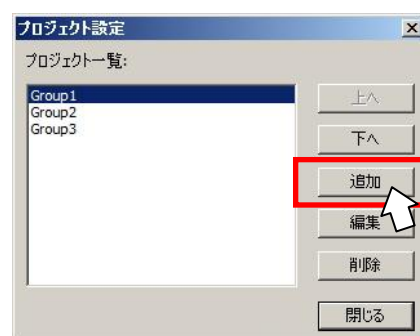


参考

プリンター本体でプロジェクト名を登録している場合、プロジェクト名を同一にすることで、ジョブログで同一プロジェクトとして認識させることができます。

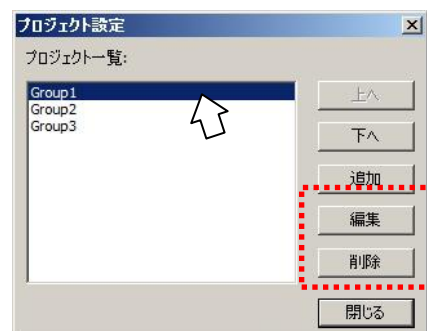


プロジェクトを追加する場合は、「追加」をクリックしてください。

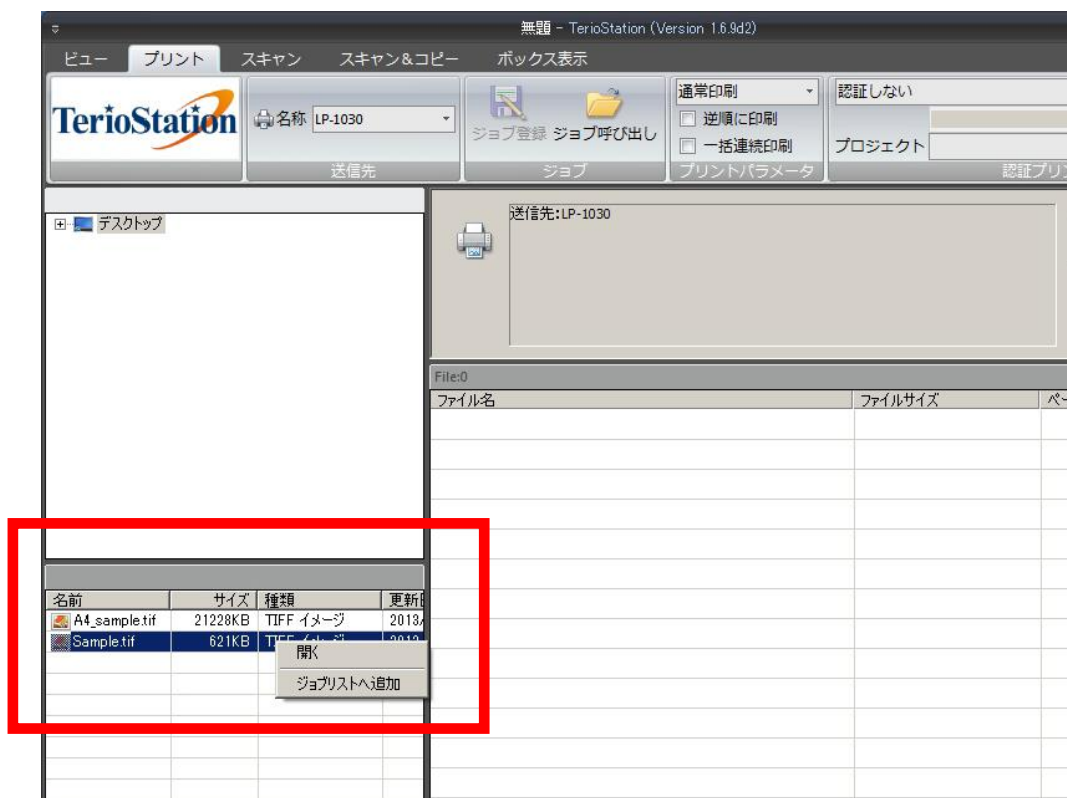


参考

すでに登録済みのプロジェクトの情報を編集または削除する場合は、プロジェクトを選択して「編集」または「削除」をクリックしてください。

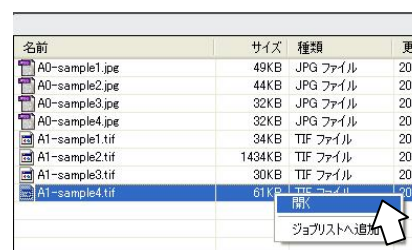


3.3 プリントにおけるファイルリストの活用について



(1) 開く

「開く」を選択すると、選択したファイルをビュー機能で表示します。



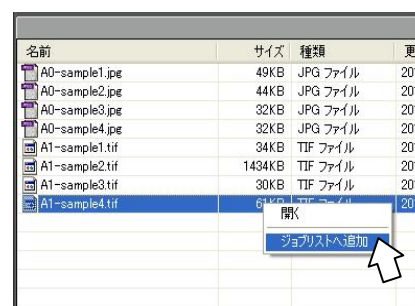
(2) ジョブリストへ追加

選択したファイルをジョブリストに追加します。



参考

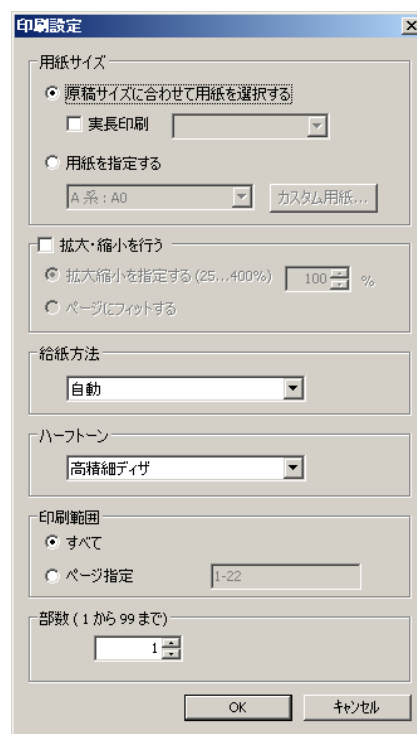
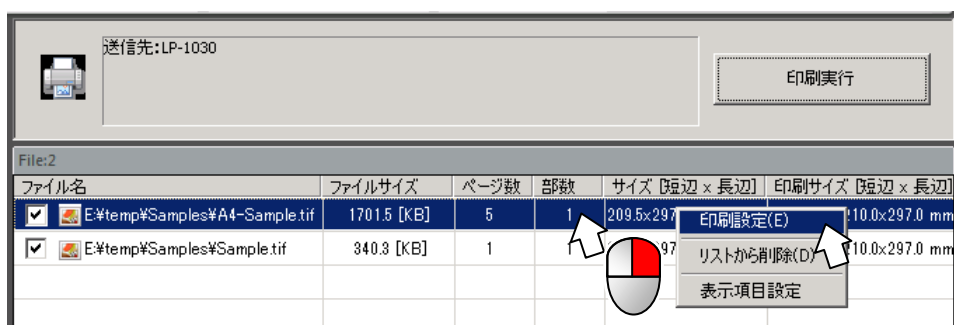
選択したファイルをダブルクリック、または、別ウィンドウから直接ドラッグ & ドロップすることで、ジョブリストにファイルを追加することができます。



3.4 プリントにおけるジョブリストの活用について

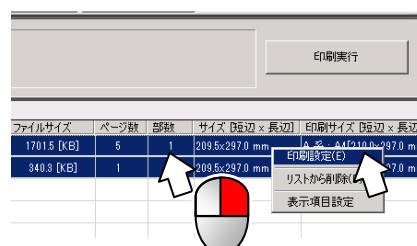
3.4.1 印刷設定

指定したファイルの印刷設定ダイアログを表示します。



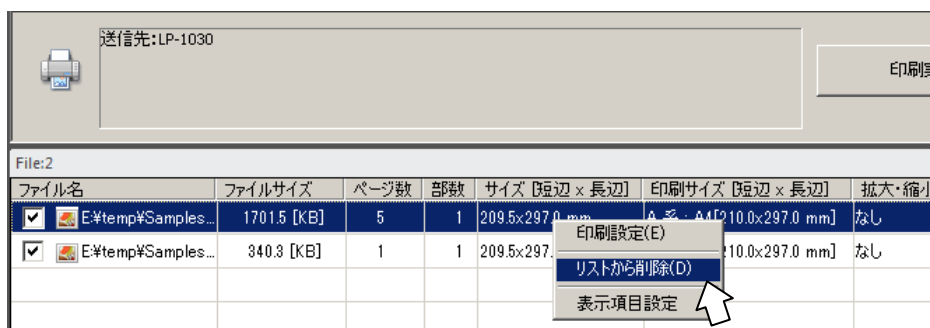
参考

複数のファイルを選択し、一括設定をすることができます。



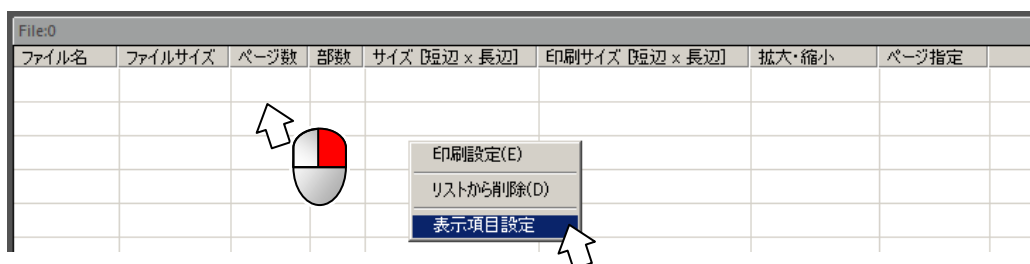
3.4.2 リストから削除

ジョブリストから印刷ジョブを削除します。

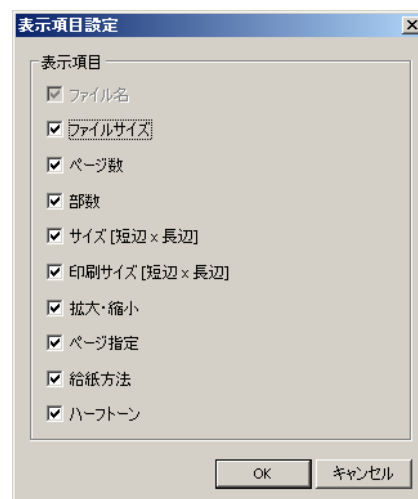


3.4.3 表示項目設定

ジョブリストに表示する項目を指定します。



右図は、デフォルトの表示設定です。
表示させたい項目にチェックを入れ、表示させない項目はチェックをはずしてください。



【表示例】

ファイル名	ファイルサイズ	ページ数	部数	サイズ [短辺 × 長辺]	印刷サイズ [短辺 × 長辺]	拡大・縮小	ページ指定	給紙方法	ハーフトーン
<input checked="" type="checkbox"/> C:\GUI01.png	41.7 [KB]	1	1	24.1x256.9 mm	A 系 : A0[841.0x1189.0 mm]	400 %		ロール1	高精細ディザ
<input checked="" type="checkbox"/> C:\GUI02.png	32.3 [KB]	1	1	24.1x210.9 mm	A 系 : A4[210.0x297.0 mm]	なし		ロール2	均一重視ディザ

3.5 印刷設定の詳細

3.5.1 用紙サイズを選択

印刷する用紙サイズを決定します。

(1) 原稿サイズに合わせて用紙を選択する

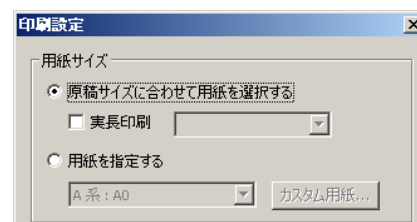
「実長印刷」にチェックがついていない場合

原稿サイズに最も適した定型の用紙サイズで印刷を行います。定型サイズで印刷したい場合に選択します。



参考

具体例については、「11.1 36x22 inch の PDF ファイルを定型サイズで印刷する場合」を参照してください。



(2) 「原稿サイズに合わせて用紙を選択する」

「実長印刷」にチェックがついている場合

指定された系列で実長印刷を行います。原稿の実際の大きさに印刷したい場合に選択します。非定型サイズ of 原稿を余白を少なくして印刷することができます。



参考

具体例については、「11.2 36x22 inch の PDF ファイルを実長サイズで印刷する場合」を参照してください。



(3) 用紙を指定する

原稿サイズに関係なく、指定した用紙サイズで印刷を行います。



(4) カスタム用紙

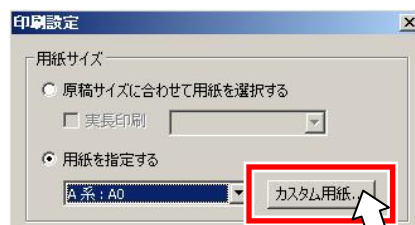
任意の用紙サイズを登録します。



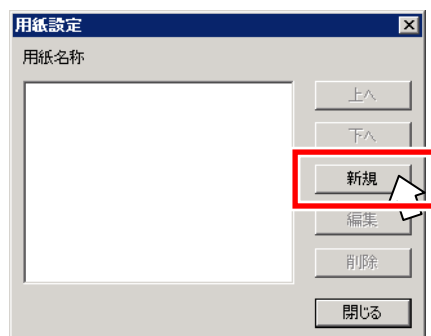
参考

カスタム用紙は、50 種類まで登録できます。

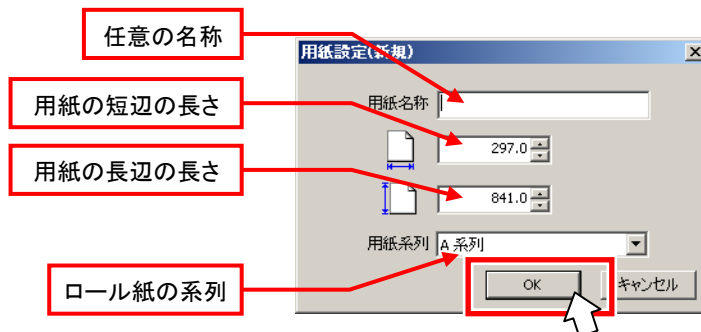
(a) 「カスタム用紙」をクリックします。



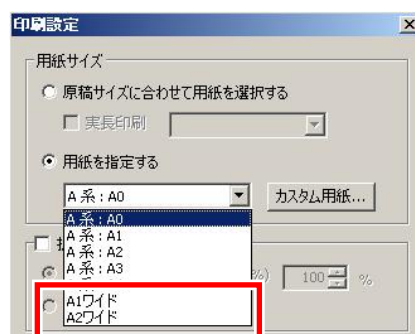
(b) 「新規」をクリックします。



(c) 右図の通り、各項目を設定して「OK」をクリックしてください。



設定が完了すると、用紙指定のプルダウンに組み込まれます。このプルダウンは、次に用紙サイズを選択するときから利用できます。



カスタム用紙

3.5.2 拡大・縮小を行う

原稿を、拡大したり縮小したりすることができます。

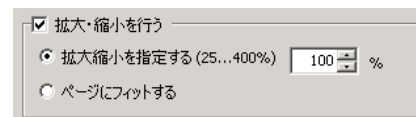
(1) 拡大縮小を指定する(25...400%)

原稿の拡大／縮小率を指定します。



参考

拡大／縮小率の範囲は、25%～400%です。



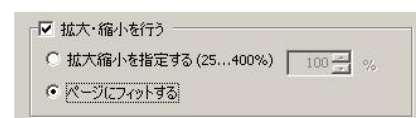
(2) ページにフィットする

原稿を、用紙サイズで指定したサイズにフィットして印刷します。



参考

用紙サイズで実長印刷にチェックがついている場合は、ページにフィットする機能は無効です。



3.5.3 給紙方法

印刷するロール紙を選択します。

(1) プリンターの設定

プリンターの設定によってロール紙が選択されます。



(2) 自動

余白が少なくなるようなロール紙を、自動で選択します。



(3) ロール1～4

印刷したいロール紙を選択します。プリンターのモデルによってロール数が異なります。



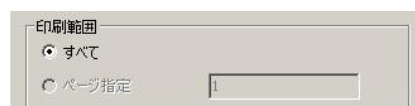
参考

具体例については、「11.4.「ロール 2」の「18 inch ロール」で、Arch 系列の定型サイズにフィットして印刷する場合」を参照してください。

3.5.4 印刷範囲

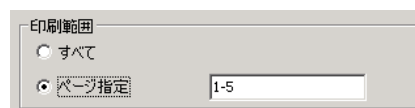
(1) すべて

ファイル内のすべてのページを印刷します。



(2) ページ指定

印刷範囲はページ指定で設定することができます。
1,3,6 のようにページ番号をカンマで区切って指定するか、1-5 のようにページ範囲を指定してください。



参考

ページは、ジョブ毎に指定することができます。

3.5.5 部数

印刷部数の指定を行います。

3.5.6 ハーフトーン

原稿を二値化するときのディザパターンを指定します。

以下の 4 パターンから選択できます。

(1) パターンディザ

階調のメリハリがあるため、イラストなどに向いています。

(2) 高精細ディザ

CAD 図面、写真、地図などに向いています。

(3) 均一重視ディザ

面塗の図形が多い図面や CG に向いています。

(4) 高均一ディザ

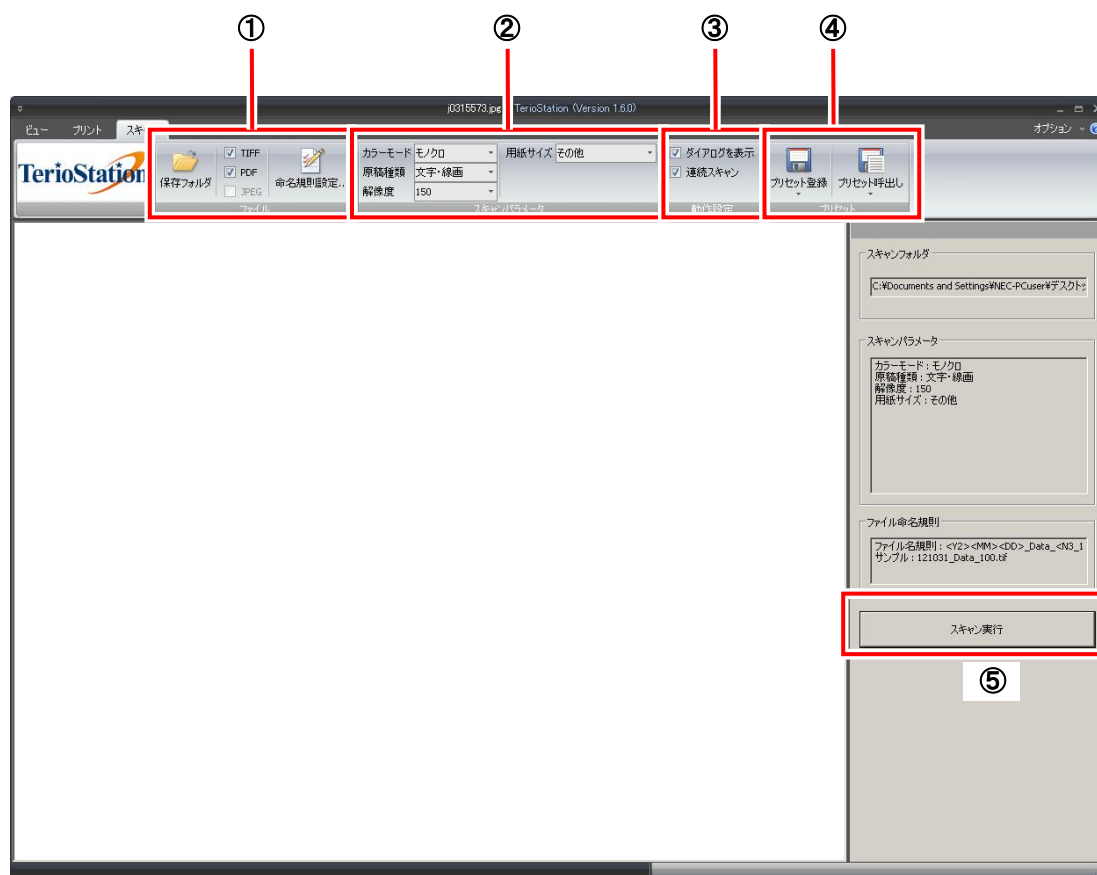
均一重視ディザよりも、グレーの表現が安定しています。



4章 スキャン

スキャナーより、スキャンしてデータを取り込むことができます。スキャンしたデータは TIFF/PDF/JPEG データとして保存することができます。

4.1 スキャンの画面構成



No.	グループ	操作	説明	参照ページ
①	ファイル	保存フォルダ	保存フォルダを設定します。	p. 45
		フォーマット選択	スキャンした画像を保存するデータ形式を選択します。	p. 45
		命名規則設定	スキャンしたデータの命名規則を設定します。	p. 46
②	スキャン パラメータ	カラーモード	スキャンする原稿のカラーモードを選択します。	p. 47
		原稿種類	スキャンする原稿の種類を選択します。	p. 47
		解像度	スキャンする解像度を選択します。	p. 48
		用紙サイズ	スキャンする用紙サイズを選択します。	p. 48
③	動作設定		スキャン実行時の動作モードを選択します。	p. 49
④	プリセット	プリセット登録	スキャン設定を登録します。	p. 51
		プリセット呼び出し	スキャン設定を呼び出します。	p. 52
⑤		スキャン実行	スキャンを実行します。	

4.2 スキャンのメニュー



4.3 ファイル

◆ 保存フォルダ

保存フォルダを設定します。



◆ フォーマット選択

スキャンした画像を保存するデータ形式を選択します。

- (1) TIFF
- (2) PDF
- (3) JPEG



参考

JPEG は、カラーモードの設定がカラーまたはグレースケールの場合に選択できます。



◆ 命名規則設定

スキャンしたデータの命名規則を設定します。



参考

命名規則のリスト・選択とファイル名規則は、以下の組み合わせが可能です。

- (1) 文字列
- (2) 日付
- (3) 数字
- (4) 予約語

<例>

20121015_data_001.tif

日付: YYYY/MM/DD

文字列: _data_

数字: 3桁

「登録」をクリックすると、設定が登録されます。

「...」をクリックすると、登録した命名規則リストを削除したり、リスト名を変更したりできます。

4.4 スキャンパラメータ

◆ カラーモード

スキャンする原稿のカラーモードを選択します。

以下の 3 パターンから選択できます。

- (1) モノクロ(1bit)
- (2) グレースケール(8bit)
- (3) カラー(24bit)



◆ 原稿種類

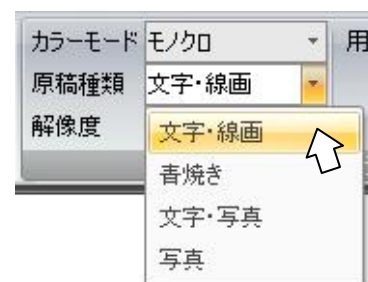
スキャンする原稿を選択します。

カラーモードによって選択できるパターンが変わります。

＜モノクロモードの場合＞

以下の 4 パターンから選択できます。

- (1) 文字・線画
- (2) 青焼き
- (3) 文字・写真
- (4) 写真



＜グレースケールモードの場合＞

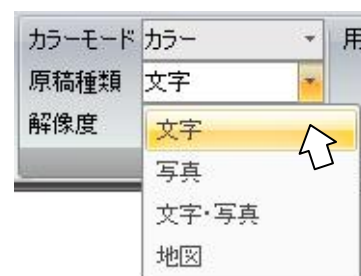
選択できません。



＜カラーモードの場合＞

以下の 4 パターンから選択できます。

- (1) 文字
- (2) 写真
- (3) 文字・写真
- (4) 地図



◆ 解像度

スキャンする解像度を選択します。

以下の 5 パターンから選択できます。

- (1) 150dpi
- (2) 200dpi
- (3) 300dpi
- (4) 400dpi
- (5) 600dpi



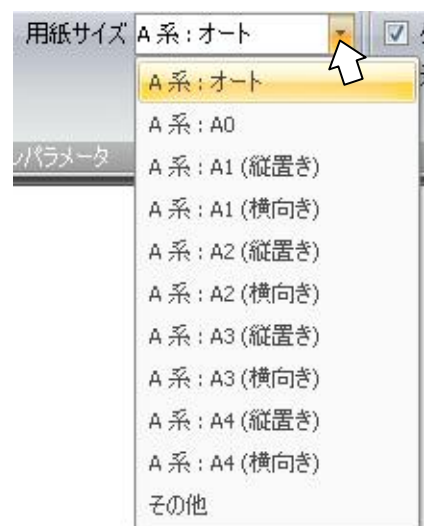
◆ 用紙サイズ

スキャンする用紙サイズを選択します。



参考

オプションの印刷設定で選択された系列が選択可能です。オプションでの設定方法は、「7.1.2 系列選択」を参照してください。



4.5 動作設定

スキャン時の動作モードを設定します。

◆ ダイアログを表示

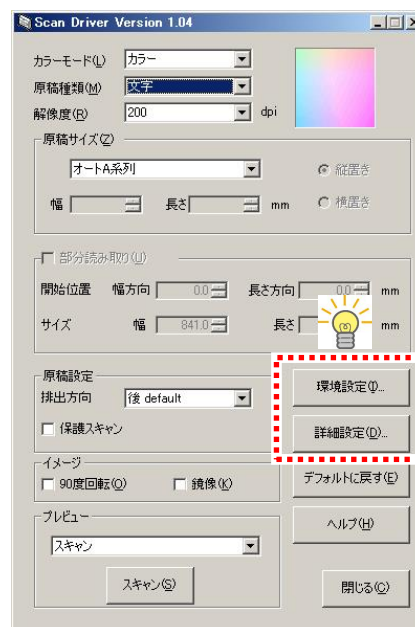
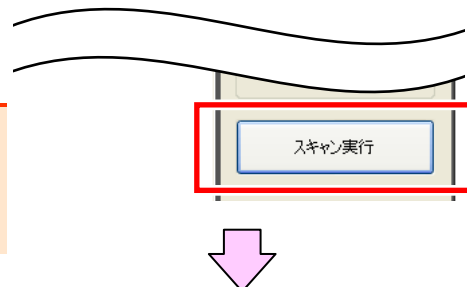
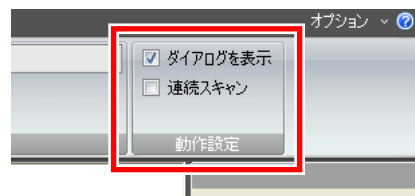
スキャンドライバのダイアログを表示するか設定します。

「ダイアログを表示」にチェックを入れ、「スキャン実行」をクリックすると、スキャンドライバのダイアログが表示されます。



参考

「ダイアログを表示」にチェックがない状態で「スキャン実行」をクリックすると、すぐにスキャンが開始されます。

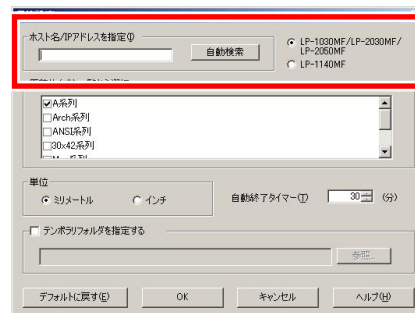


参考

TerioStation で初めてスキャンをする場合は、環境設定が必要です。

スキャンする機種を選択し、「自動検索」をクリックしてください。

IP アドレスが自動で検出されない場合は、直接入力してください。





参考

スキンの詳細設定を行うことができます。必要に応じて設定を変更してください。

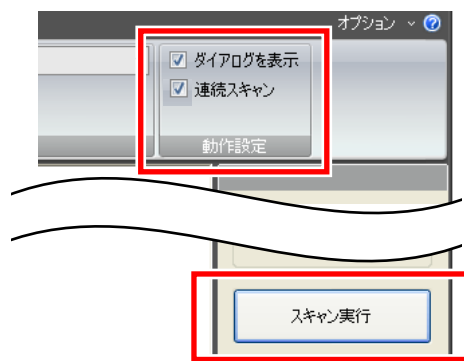


◆ 連続スキャン

原稿が2枚以上ある場合に、連続してスキャンできます。

「連続スキャン」にチェックを入れると、同じ設定で連続してスキャンを行うことができます。

全てのスキャンが終了したら、キャンセルをクリックして終了します。



4.6 スキャンプリセット機能

スキャンの設定を保存し、呼び出すことができます。



参考

プリセット可能な内容は下記の通りです。

- ・ 保存フォルダ
- ・ フォーマット選択
- ・ 命名規則
- ・ カラーモード
- ・ 原稿種類
- ・ 解像度
- ・ 用紙サイズ
- ・ ダイアログ表示の有無
- ・ 連続スキャン
- ・ スキャンドライバの設定

4.6.1 プリセット登録

現在のスキャン設定をプリセット登録します。プリセット名称を設定し、「OK」ボタンをクリックすると、登録されます。



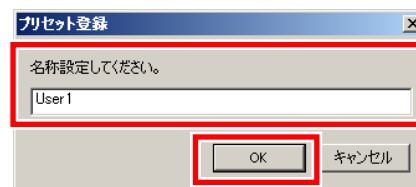
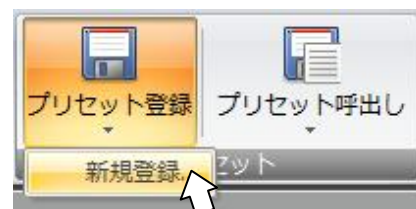
参考

プリセットは 50 個まで設定できます。



参考

スキャンドライバの設定もプリセットに保存されます。スキャンドライバのダイアログを表示し設定を行った後、「閉じる」ボタンを押してダイアログを閉じてからプリセット登録を行ってください。



4.6.2 プリセット呼出し

保存されているプリセットを選択して設定を呼び出します。

呼び出した設定は、スキャン&コピーのスキャンパラメータとスキャンドライバに反映されます。



参考

設定をクリックすると、プリセット設定画面が表示されます。

プリセット設定画面では、以下の設定を行えます。

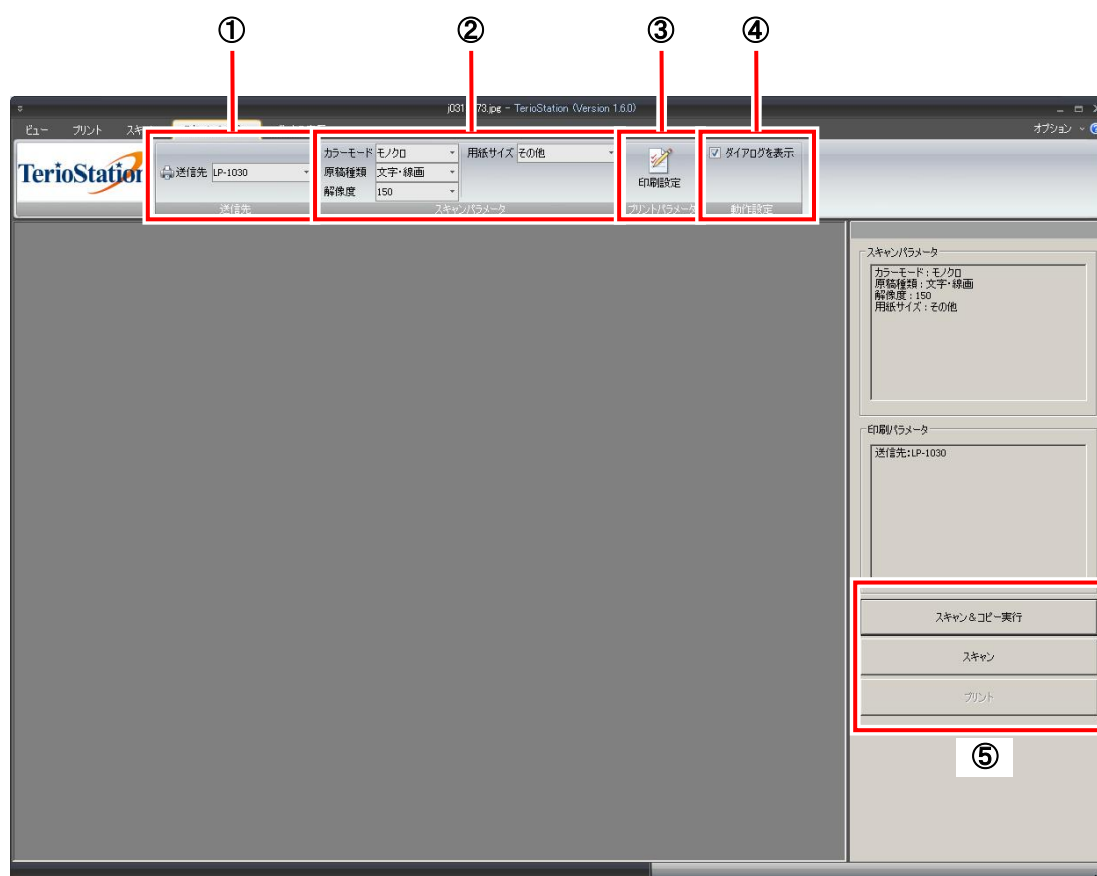
- ・プリセットの表示並べ替え
- ・名称変更
- ・削除



5章 スキャン&コピー

スキャンしたデータをプレビュー表示し、確認しながらプリンターへ印刷を行うことができます。

5.1 スキャン&コピーの画面構成



No.	グループ	操作	説明	参照ページ
①	送信先		送信先のプリンターを選択します。	p. 55
②	スキャン パラメータ	カラーモード 原稿種類 解像度 用紙サイズ	スキャンする原稿のカラーモードを選択します。 スキャンする原稿の種類を選択します。 スキャンする解像度を選択します。 スキャンする用紙サイズを選択します。	p. 55 p. 55 p. 56 p. 56
③	プリント パラメータ	印刷設定	プリントパラメータを設定します。	p. 57
④	動作設定		スキャン&コピー実行時の動作モードを選択します。	p. 57
⑤		スキャン&コピー実行 スキャン プリント	スキャン&コピーを実行します。 スキャンを実行します。 プリントを実行します。	

5.2 スキャン＆コピーのメニュー



5.2.1 送信先

◆ プリンター選択

送信先のプリンターを選択することができます。



参考

オプションで設定したプリンターに印刷します。
詳細はオプション設定を参照してください。



5.2.2 スキャンパラメータ

◆ カラーモード

スキャンする原稿のカラーモードを選択します。

以下の 3 パターンから選択できます。

- (1) モノクロ(1bit)
- (2) グレースケール(8bit)
- (3) カラー(24bit)



◆ 原稿種類

スキャンする原稿を選択します。

カラーモードによって選択できるパターンが変わります。

＜モノクロモードの場合＞

以下の 4 パターンから選択できます。

- (1) 文字・線画
- (2) 青焼き
- (3) 文字・写真
- (4) 写真



＜グレースケールモードの場合＞

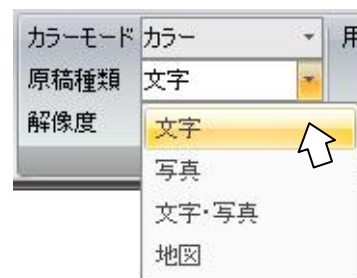
選択できません。



＜カラーモードの場合＞

以下の 4 パターンから選択できます。

- (1) 文字
- (2) 写真
- (3) 文字・写真
- (4) 地図



◆ 解像度

スキャンする解像度を選択します。

以下の 5 パターンから選択できます。

- (1) 150dpi
- (2) 200dpi
- (3) 300dpi
- (4) 400dpi
- (5) 600dpi



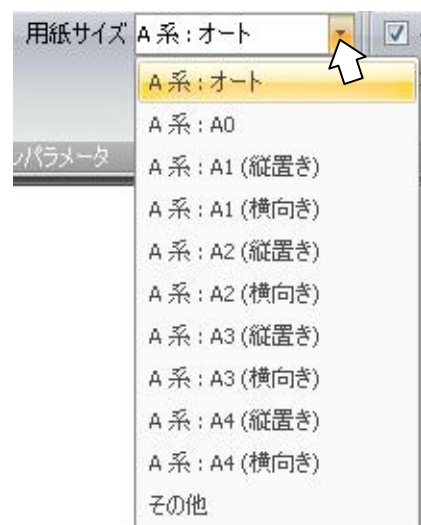
◆ 用紙サイズ

スキャンする用紙サイズを選択します。



参考

オプションの印刷設定で選択された系列が選択可能です。オプションでの設定方法は、「7.1.2 系列選択」を参照してください。



5.2.3 プリントパラメータ

◆ 印刷設定

プリントパラメータを設定します。



参考

XPT/LPR モードで印刷する場合は、用紙サイズ、拡大縮小、給紙方法、部数を設定できます。

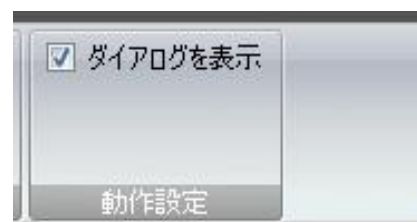
プリンタドライバで印刷する場合は、用紙サイズ、拡大縮小、部数を設定できます。



5.2.4 動作設定

◆ ダイアログを表示

スキャンドライバのダイアログを表示するか設定します。



6章 ボックス表示

プリンターの配信ボックス、PDtF ボックスに蓄積された画像データをサムネイル形式で参照し、ダウンロードすることができます。

6.1 ボックス表示の画面構成



No.	グループ	操作	説明	参照ページ
①	ボックス表示	プリンター名	プリンターを選択します。	p. 59
		配信ボックス	配信ボックスを表示します。	p. 59、60
		PDtF ボックス	PDtF ボックスを表示します。	p. 59、63
		ログオフ	認証ログイン状態からログオフします。	p. 59

6.2 ボックス表示のメニュー

プリンターで認証ありに設定されている場合は、配信ボックス、PDtF ボックスを表示する際に、ログイン名(ユーザー名)とパスワードの入力が必要です。



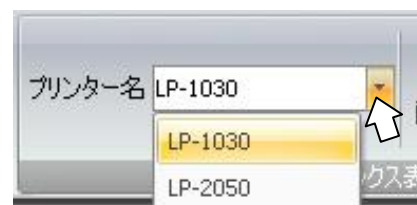
6.2.1 プリンター名

プリンターの切り替えを行います。



参考

プリンターの追加・編集は、オプション設定で行います。
(7.4.2 参照)。



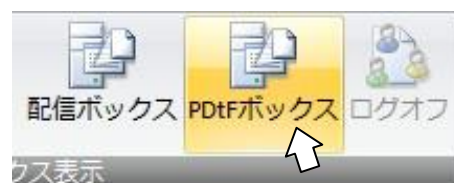
6.2.2 配信ボックス

プリンターの配信ボックスを表示します。



6.2.3 PDtF ボックス

プリンターの PDtF ボックスを表示します。



6.2.4 ログオフ

認証ログイン状態からログオフします。

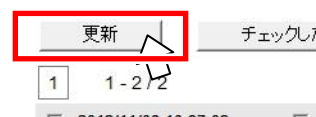
6.3 配信ボックスの操作

プリンターの配信ボックスに蓄積されている画像データを参照してダウンロードしたり、削除することができます。



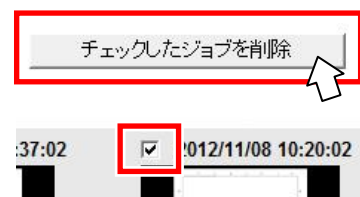
(1) 更新

配信ボックスの表示を最新の状態に更新します。



(2) チェックしたジョブを削除

削除したいデータにチェックを入れ、「チェックしたジョブを削除」をクリックすると、選択したデータが削除されます。

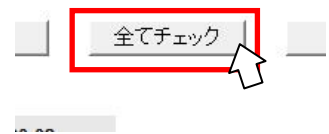


参考

複数にチェックを入れることで、選択したデータを一括で削除することができます。

(3) 全てチェック

「全てチェック」をクリックすると、表示されているすべてのデータにチェックを入れることができます。
すべてのチェック解除する場合は、更新ボタンを押してください。



(4) チェックしたジョブをダウンロード

選択したデータを、ダウンロードすることができます。



参考

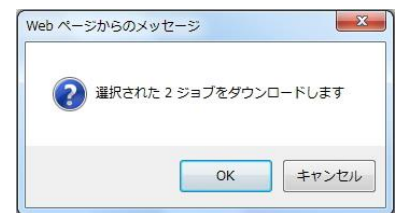
複数にチェックを入れることで、選択したデータを一括でダウンロードすることができます。

チェックしたジョブをダウンロード

<単一のデータを選択した場合>

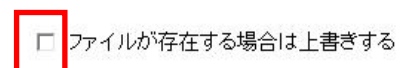


<複数のデータを選択した場合>



(5) ファイルが存在する場合は上書きする

ダウンロード先に同一ファイル名のデータが存在する場合、上書き保存をするか決定します。
チェックを入れると、上書き保存されます。



(6) 詳細表示

サムネイル画像をクリックすると、そのデータの詳細が表示されます。

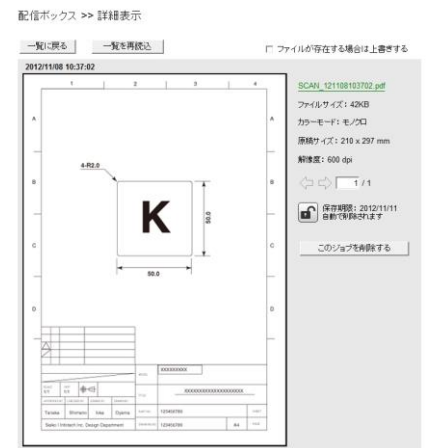


詳細表示画面では、マルチページ画像で指定したページの参照、データのダウンロード、削除、ロックをすることができます。

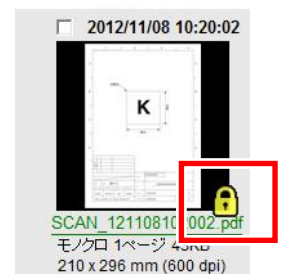


参考

配信ボックス内のデータは、プリンターの設定で保存期間が決められています。保存期間が過ぎても自動で消去されないようにロックをかけることができます。



ロックがかかると、サムネイル画面に写真のように鍵のアイコンが付きます。



6.4 PDtF ボックスの操作

プリンターの PDtF ボックス内に蓄積されている画像データを参照してダウンロードしたり、削除することができます。



(1) 更新

PDtF ボックスの表示を最新の状態に更新します。



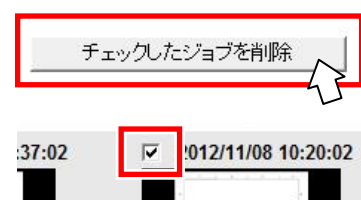
(2) チェックしたジョブを削除

削除したいデータにチェックを入れ、「チェックしたジョブを削除」をクリックすると、選択したデータが削除されます。



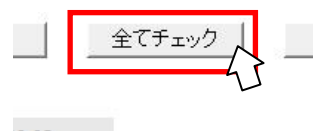
参考

複数にチェックを入れることで、選択したデータを一括で削除することができます。



(3) 全てチェック

「全てチェック」をクリックすると、表示されているすべてのデータにチェックを入れることができます。
すべてのチェック解除する場合は、更新ボタンを押してください。



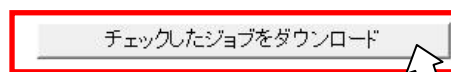
(4) チェックしたジョブをダウンロード

選択したデータを、ダウンロードすることができます。



参考

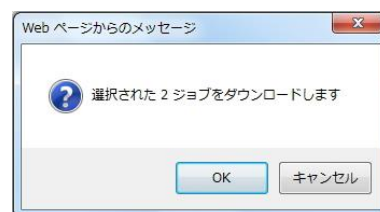
複数にチェックを入れることで、選択したデータを一括でダウンロードすることができます。



<単一のデータを選択した場合>



<複数のデータを選択した場合>



(5) ダウンロード

選択したデータを、ダウンロードすることができます。



回転ボタン

サムネイル画像をクリックまたは、回転ボタンを押すと、画像を回転させることができます。

現在の回転角度がサムネイルの右上に表示されます。



参考

画面上で見えている状態と同じ向きの画像がダウンロードされます。



解像度変換

画像の解像度を変換することができます。



TIFF ファイルの PDF 変換

ダウンロードする画像が TIFF の場合、PDF に変換することができます。



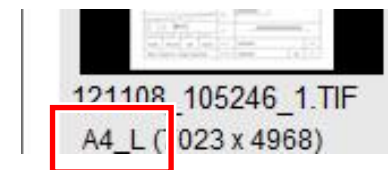
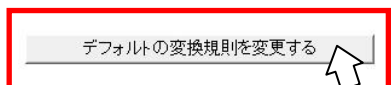
デフォルトの変換規則を変更する

画像の回転・解像度変換・PDF 変換の規則を設定します。



参考

画像の回転については、系列ごとに各用紙サイズについて、ダウンロード画面を開いた際に自動的に回転がかかった状態にすることができます。その際に、サムネイルの下部に表示されている用紙の種類を見て、どの用紙サイズに回転設定をすればよいかを知ることができます。



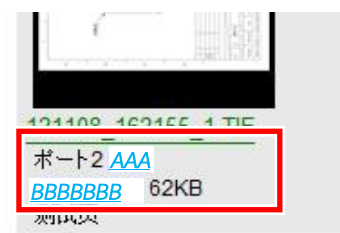
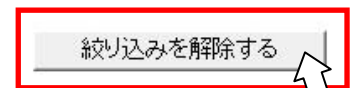
(5) 絞り込みを解除する

絞り込み検索をしてデータを表示している場合、「絞り込みを解除する」をクリックすると、絞り込み表示を解除して、全データを表示させます。



参考

絞り込み検索とは、サムネイル画面のユーザー名またはホスト名をクリックすることにより、特定のユーザーのデータまたは特定のホストから送信されたデータのみを表示させる機能です。

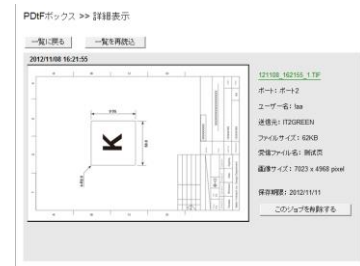


(6) 詳細表示

サムネイル画像をクリックすると、そのデータの詳細が表示されます。



詳細表示画面では、ダウンロードとデータの削除をすることができます。



7章 オプション設定

ウィンドウの右端にあるオプションを選択すると、オプションダイアログが表示されます。



参考

TerioStation のインストール時にセキュリティ機能を設定した場合は、認証が必要です。



注意

パスワードを忘れた場合は、オプション設定ができません。
TerioStation を再インストールし、パスワードを再設定してください。



オプション設定ダイアログでは、それぞれオプションのタブごとに以下の設定項目を選択することができます。

7.1 印刷設定

7.1.1 送信先一覧

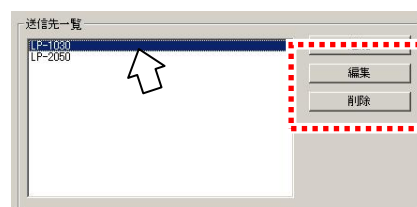
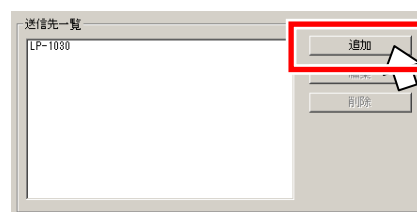
送信先プリンターの追加、編集、削除ができます。

プリンターを追加する場合は、「追加」をクリックしてください。



参考

すでに登録済みのプリンターの情報を編集または削除する場合は、プリンターを選択して「編集」または「削除」をクリックしてください。



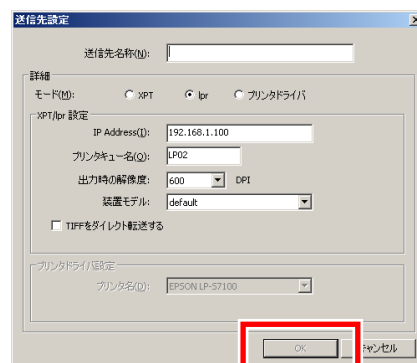
追加または編集ボタンを押すと、送信先設定が表示されます。

必要な情報を入力し、「OK」をクリックしてください。

(1) 送信先名称(追加のときのみ設定可能です。)

(2) モード

- ・XPT
- ・lpr
- ・プリンタドライバ



(3) XPT / lpr 設定(モードが XPT または lpr のときのみ設定可能になります。)

- ・IP Address
- ・プリンタキュー名／ポート番号
- ・出力時の解像度
- ・装置モデル
- ・TIFF をダイレクト転送する



注意

送信先プリンターのモデル名を選択してください。

(4) プリンタドライバ設定(モードがプリンタドライバのときのみ設定可能です。)

7.1.2 系列選択

用紙系列を選択します。

- ・A 系列
- ・Arch 系列
- ・ANSI 系列
- ・MAP 系列
- ・DIN 系列
- ・30x42 系列

系列選択

- ☒ A 系列
- ☐ Arch 系列
- ☐ ANSI 系列
- ☐ MAP 系列
- ☐ DIN 系列
- ☐ 30x42 系列

7.1.3 単位

単位を選択します。

- ・inch
- ・mm

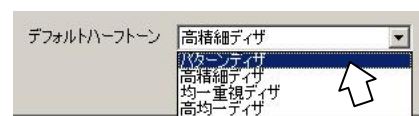
単位 ☐ inch ☒ mm

7.1.4 デフォルトハーフトーン

原稿を二値化するときのデフォルトのディザパターンを指定します。以下の 4 パターンから選択できます。

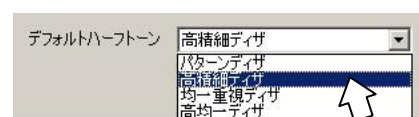
(1) パターンディザ

階調のメリハリがあるため、イラストなどに向いています。



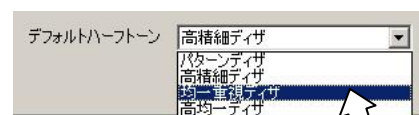
(2) 高精細ディザ

CAD 図面、写真、地図などに向いています。



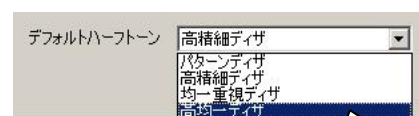
(3) 均一重視ディザ

面塗の図形が多い図面や CG に向いています。

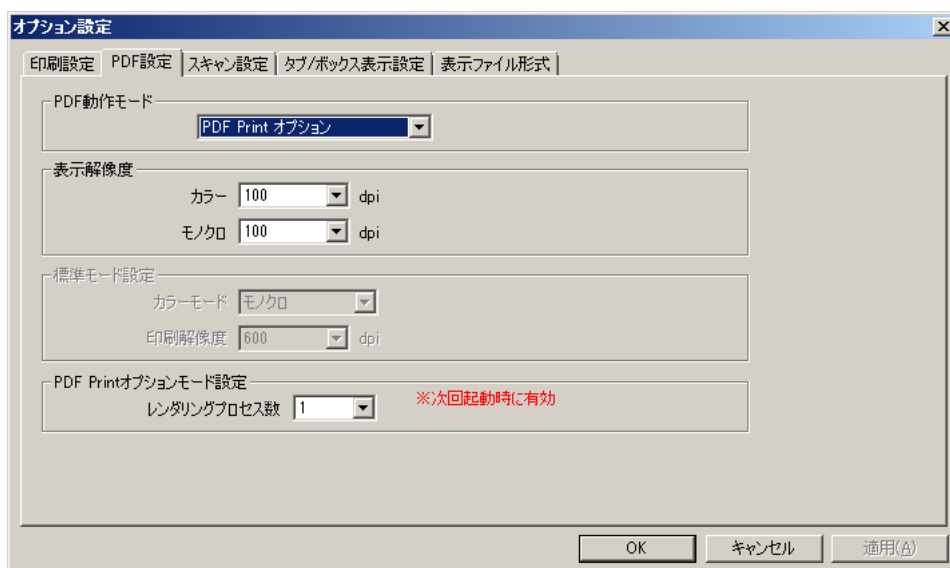


(4) 高均一ディザ

均一重視ディザよりも、グレーの表現が安定しています。



7.2 PDF 設定



7.2.1 PDF 動作モード

PDF を処理する RIP コアを選択します。

(1) 標準

標準の PDF コア (ABCpdf) が選択されます。



(2) PDF Print オプション

オプションの PDF コア (Harlequin Host Renderer) が選択されます。

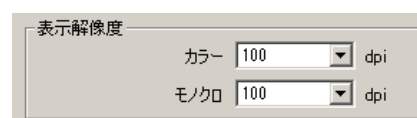


7.2.2 表示解像度

(1) カラー

カラーモードの表示解像度を設定します。

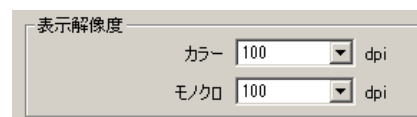
- ・100 dpi
- ・150 dpi
- ・200 dpi
- ・300 dpi
- ・400 dpi
- ・600 dpi



(2) モノクロ

モノクロモードの表示解像度を設定します。

- ・100 dpi
- ・150 dpi
- ・200 dpi
- ・300 dpi
- ・400 dpi
- ・600 dpi



表示解像度

カラー 100 dpi

モノクロ 100 dpi

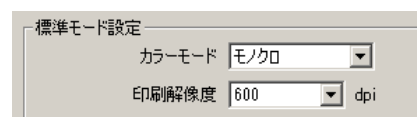
7.2.3 標準モード設定

PDF 動作モードが標準の場合の印刷設定です。
(PDF Print オプション選択時はグレー表示されます。)

(1) カラーモード

PDF をプリントする場合の、カラーモードを設定します。

- ・モノクロ
- ・カラー(RGB24bit フルカラー)



標準モード設定

カラーモード モノクロ

印刷解像度 600 dpi



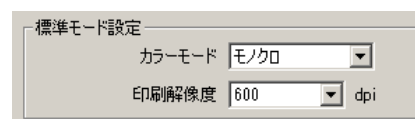
注意

モノクロを選択した場合、プリントタブの印刷設定でハーフトーンの設定を行うことができなくなります。
ハーフトーンの設定を行いたい場合は、カラーを選択してください。

(2) 印刷解像度

PDF をプリントする場合の、印刷解像度を設定します。

- ・100 dpi
- ・150 dpi
- ・200 dpi
- ・300 dpi
- ・400 dpi
- ・600 dpi



標準モード設定

カラーモード モノクロ

印刷解像度 600 dpi



参考

デフォルトでは、以下に設定されています。

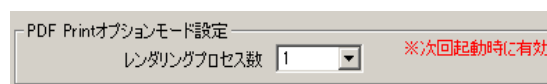
- ・ モノクロ 600 dpi
- ・ カラー 300 dpi

7.2.4 PDF Print オプションモード設定

(1) レンダリングプロセス数

レンダリングプロセス数を設定します。

1～4 の間で設定してください。



PDF Printオプションモード設定

レンダリングプロセス数 1 ※次回起動時に有効



参考

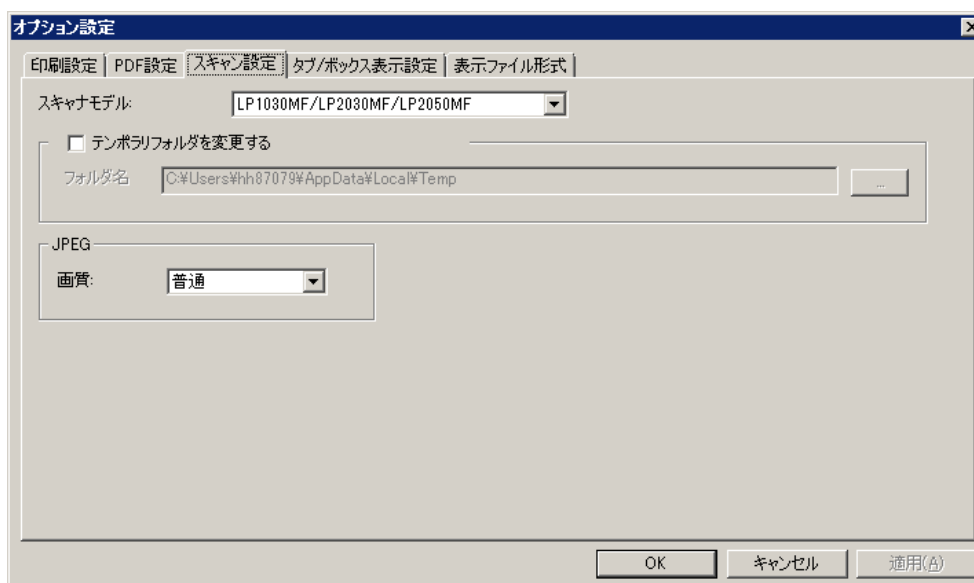
PDF Print オプションでは、複数の CPU コアを使用してレンダリング処理を行うことができます。より高速にレンダリング処理を行うために、使用するコンピュータに応じたレンダリングプロセス数を選択してください。



注意

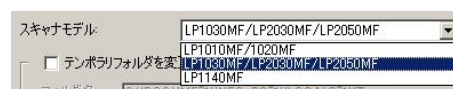
レンダリングプロセス数を変更した時は、TerioStation を再起動してください。

7.3 スキャン設定



7.3.1 スキャナーモデル

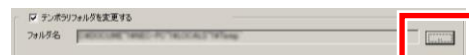
スキャナーモデルを選択します。



7.3.2 テンポラリーフォルダを変更する

一次保存に使用するテンポラリーフォルダを設定します。

テンポラリーフォルダを変更する場合は、「テンポラリーフォルダを変更する」にチェックを入れ、「参照」ボタンをクリックして、変更してください。



参照ボタン

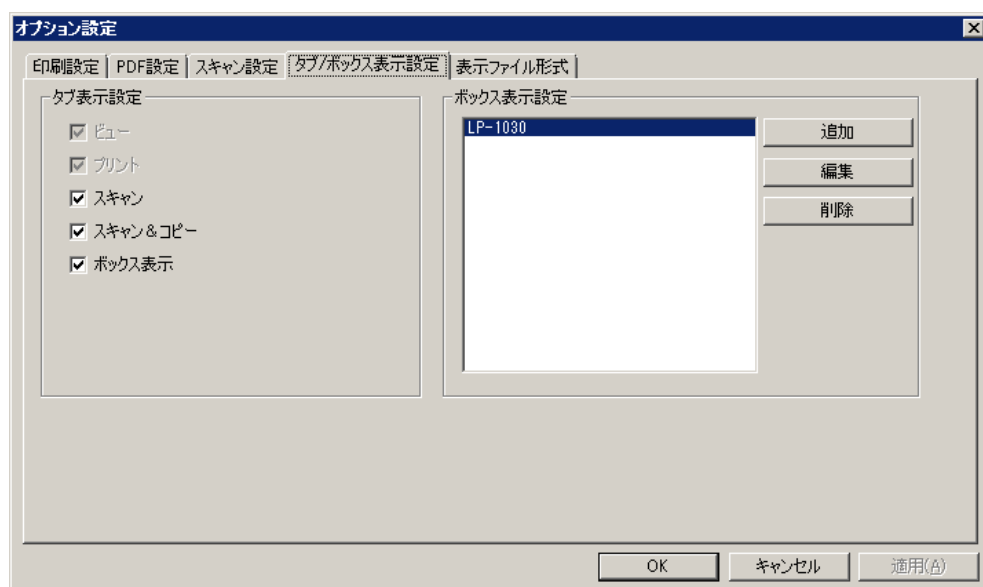
7.3.3 JPEG

JPEG フォーマットの画質を選択できます。

- ・低
- ・普通
- ・高



7.4 タブ/ボックス表示設定



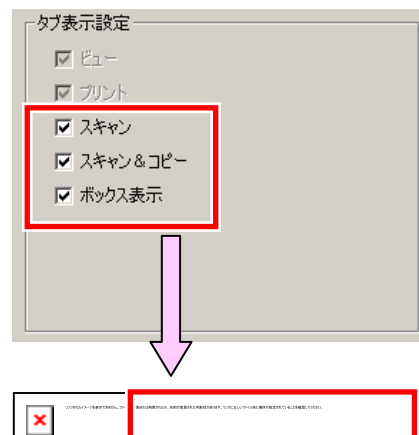
7.4.1 タブ表示設定

リボンに表示するタブを選択します。
チェックを入れた項目がタブに表示されます。



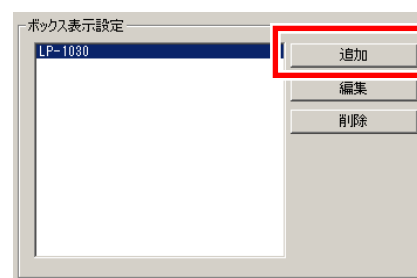
参考

ビューとプリントは、デフォルトの設定値を変更することができません。

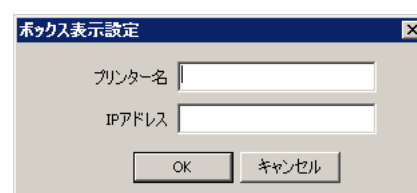


7.4.2 ボックス表示設定

配信ボックス、PDtF ボックスを参照するプリンターを登録します。



「追加」をクリックすると、ボックス表示設定画面が表示されますので、任意のプリンター名とプリンターの IP アドレスを入力してください。



「編集」をクリックすると、プリンターの IP アドレスを変更できます。「削除」をクリックすると、登録リストからプリンターを削除できます。

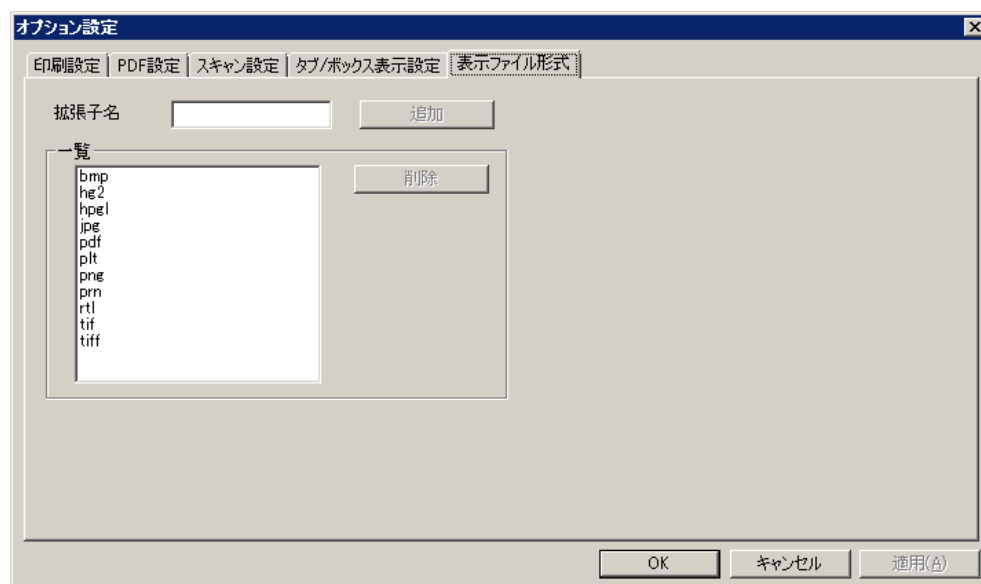
7.5 表示ファイル形式

ファイルリストの表示ファイルを、指定することができます。



参考

HP-GL 形式では、拡張子が多種になります。一覧にない拡張子を使用する場合は、追加してください。

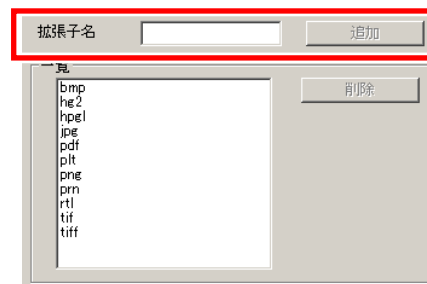


表示したいファイル形式が一覧にない場合は、拡張子を追加してください。



注意

追加した拡張子ファイルが表示に対応していない場合は、そのファイルを表示することができません。



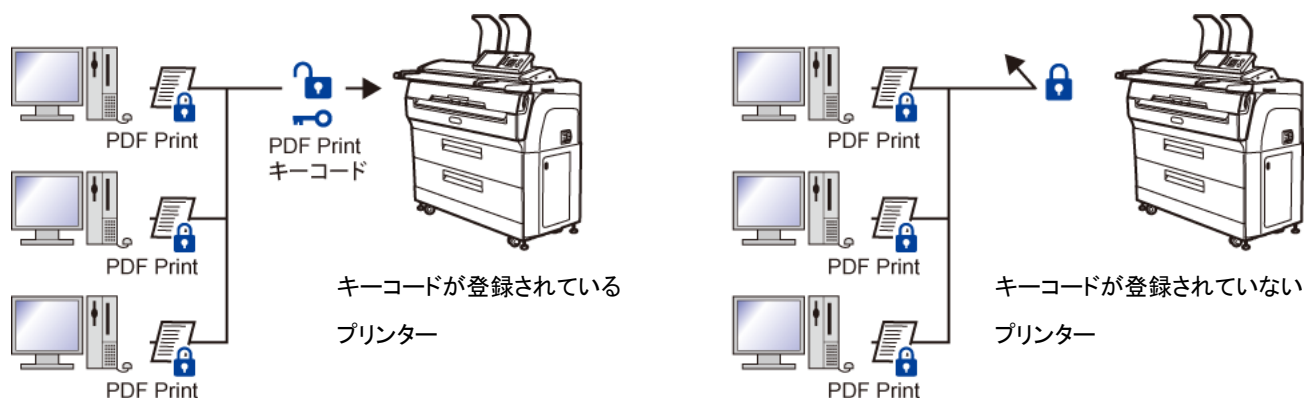
8章 TerioStation PDF Print 機能

8.1 特徴

TerioStation PDF Print 機能は、RIP コアに Global Graphics Software Ltd.製の Harlequin Host Renderer を採用し、PDF の高速な処理を可能にするオプションです。プリンターにキーコードを登録することにより、TerioStation PDF Print 機能を使用することができます。

8.2 運用形態

PDF Print オプションは複数の Windows コンピュータにインストールすることができますが、出力できるプリンターは、キーコードが登録されているプリンターに限られます。



8.3 サポートされるPDF

TerioStation PDF Print 機能 (v1.00) でサポートされるPDFの種類は以下のものです。

- ・ PDF (ISO 32000-1 を含む)
- ・ PDF/X-1a:2001 & 2003;
- ・ PDF/X-3:2002 & 2003;
- ・ PDF/X-4 & 4p 2008 & 2010;
- ・ PDF/5g & 5pg 2008 & 2010

8.4 フォントについて

印刷またはビューで、文字が「……」のように表示される場合は、その PDF にフォントが埋め込まれていないことが原因です。PDF を作成するときにすべてのフォントを埋め込むか、または文字をアウトライン化してください。

その他の解決策として、Adobe Reader から印刷すると、代替フォントで印刷できる場合があります。

9章 トラブルシューティング

サポートへ問い合わせる前に、本章をご確認ください。

Q. 取り込んだ画像データ(TIFF)ファイルが印刷されない。

【原因】

弊社複合機のスキャン・ドライバを利用し取り込んだ TIFF ファイルは、プリンターの印字制限で直接印刷できない場合があります。

【対策】

「スキャン&コピー」の TIFF 印刷機能で再度スキャンと印刷を行ってください。
または、解像度を落とした状態で取り込んだ TIFF ファイルで印刷を行ってください。

Q. データ保管が遅い。

【原因】

お使いの環境(PC)による問題が考えられます。

【対策】

本ソフトウェアとLP-1010/LP-1020/LP-2050/LP-2030/LP-1030/LP-1140は、同一のLAN回線でご利用ください。また、WindowsPCの環境(メモリ/HD容量、作業フォルダなど)をご確認ください。

Q. OSに添付されているイメージングが、白黒反転して表示される。

【原因】

本スキャンドライバ、及び本ソフトウェアの「スキャン」「スキャン&コピー」での動作確認を行っております。

よって、TerioStationにおける「スキャン」「スキャン&コピー」以外のご使用、つまり、他のアプリケーションソフトウェアでスキャニング、ファイル作成を行った場合の動作に関しては、保証いたしかねます。

【対策】

このような現象が発生する場合は、「ビュー」でビューイングした際、画像補正で色調反転してください。

Q. 取り込んだ画像データを Windows に添付される「FAX&ビューワー」で開くと、印刷ができなくなってしまう。

【原因】

FAX&ビューワーの問題です。ファイルを開いたときにデータ圧縮形式が変更されています。

【対策】

「FAX&ビューワー」の利用を止めてください。

また、データの圧縮形式の変更とデータの再確認を行ってください。

Q. ノイズ除去処理に時間がかかる。

【原因】

ノイズ除去処理は、本ソフトウェアが動作している PC の性能により、左右されます。

【対策】

お客様の PC 環境の確認と調整をお願いします。

Q. データ保管が行われない。

【原因】

本ソフトウェア、もしくはファイル命名で利用できない文字列を利用しています。

または、保管フォルダ名長が 255 文字を越えています。

【対策】

本ソフトウェアでは、以下に記載する文字列を、ご利用になれません。

また、これ以外にも利用できない文字がありますので、英数字でファイル命名されることを推奨いたします。さらに、指定されたフォルダ名とファイル名が 255 文字を越えていないことをご確認ください。

◆ ご利用になれない文字

; ¥ / : *

その他、Windows 依存文字 (①、㊦など)。

Q. プリント機能の印刷設定で、給紙方法がグレー表示され操作できない。

【原因】

オプション > 印刷設定 > 送信先 の設定が以下のどちらかになっていることが考えられます。

- (A) 装置モデルが、デフォルト値のままになっている。
- (B) 印刷出力モードがプリンタードライバーに設定されている。

【対策】

- (A) 装置モデルを適切な機種に設定してください。
- (B) 印刷出力モードがプリンタードライバーに設定されている場合は、ドライバの給紙機能で指定してください。

10章 注意事項

10.1 取り込んだ画像データ(TIFF)ファイルの印刷について

LP-1010MF/LP-1020MF/LP-2050MF/LP-2030MF/LP-1030MF/LP-1140MF スキャンドライバを利用して取り込んだモノクロ TIFF ファイルは、以下の弊社製品で直接印刷できない場合があります。

- (1) LS-1300
- (2) LS-3300
- (3) LP-2150, LP-2160
- (4) LP-2020MK2, LP-2020EX

10.2 市販アプリケーションでのご利用について

本スキャンドライバは「スキャン」「スキャン&コピー」での動作確認を行っております。

したがって、これ以外のアプリケーションソフトウェアでスキャンを行った場合の動作に関しては、保証いたしません。

また、取り込んだ画像データ(TIFF 形式)は、一部のアプリケーションで正しく表示できない場合があります。

Windows に添付されているイメージングは、白黒反転して表示されます。

このような現象が発生する場合は、詳細設定でネガポジ反転を有効にしてスキャンしてください。

10.3 モノクロ TIFF ファイルについて

取り込んだ画像データは、Windows に添付される「FAX & ビューワー」で開かないでください。

データ圧縮形式が変更されてしまい、お客様が利用されているアプリケーションソフトウェアで利用できなくなってしまう場合があります。

10.4 ノイズ除去処理について

ノイズ除去処理は、本ソフトウェアが動作している PC の性能により左右されます。

ノイズ除去処理中は、画面上に「処理中」と表示されます。

データのサイズによっては、ノイズ除去／ゴミとり処理ができない場合があります。

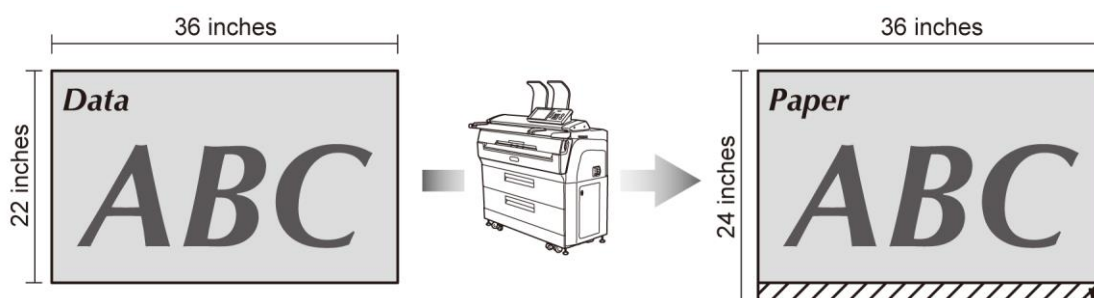
11章 TerioStation における各種印刷の設定例

11.1 36x22 inch の PDF ファイルを定型サイズで印刷する場合

原稿サイズに最も適した定型の用紙サイズを選びます。
定型サイズで印刷したい場合に使用します。

☒ 原稿サイズに合わせて用紙を選択する

☐ 実長印刷



原稿サイズに最も近い定型用紙で印刷するため、
印刷物に余白が生じます。



注意

本機能は、次の条件をすべて満たしている場合に有効となります。

- TerioStation の出力先が XPT/LPR 印刷であること。
(プリンタードライバー経由印刷の場合は、上記のような印刷設定をサポートしていません。)
- 出力先設定の装置モデルが設定されていること。
- TIFF ダイレクト印刷が選択されていないこと。
- 印刷データファイル形式が PDF, TIFF または JPEG であること。
(HPGL ファイルの場合は、上記のような印刷設定をサポートしていません。)

11.2 36x22 inch の PDF ファイルを実長サイズで印刷する場合

指定された系列の実長印刷を行います。
余白を少なくしたい場合に使用します。

☒ 原稿サイズに合わせて用紙を選択する

☒ 実長印刷

Arch 系列



余白が生じることなく、原稿サイズの大き
さで印刷します。



注意

本機能は、次の条件をすべて満たしている場合に有効となります。

- TerioStation の出力先が XPT/LPR 印刷であること。
(プリンタードライバー経由印刷の場合は、上記のような印刷設定をサポートしていません。)
- 出力先設定の装置モデルが設定されていること。
- TIFF ダイレクト印刷が選択されていないこと。
- 印刷データファイル形式が PDF, TIFF または JPEG であること。
(HPGL ファイルの場合は、上記のような印刷設定をサポートしていません。)

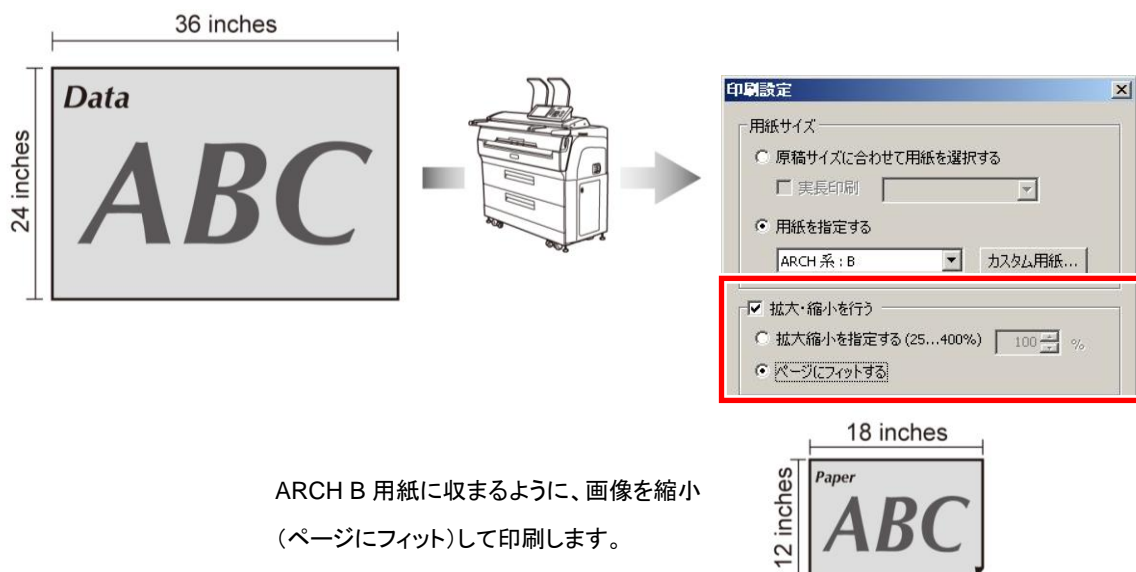
11.3 ARCH D サイズの PDF ファイルを ARCH B 用紙に印刷する場合

用紙の拡大・縮小を行う場合、画像の拡大・縮小の有無によって、下記のいずれかのパターンで印刷することができます。

(1) 用紙を指定し、画像を指定した用紙にフィットさせる。

「用紙を指定する」にチェックを入れ、用紙サイズを選択します。

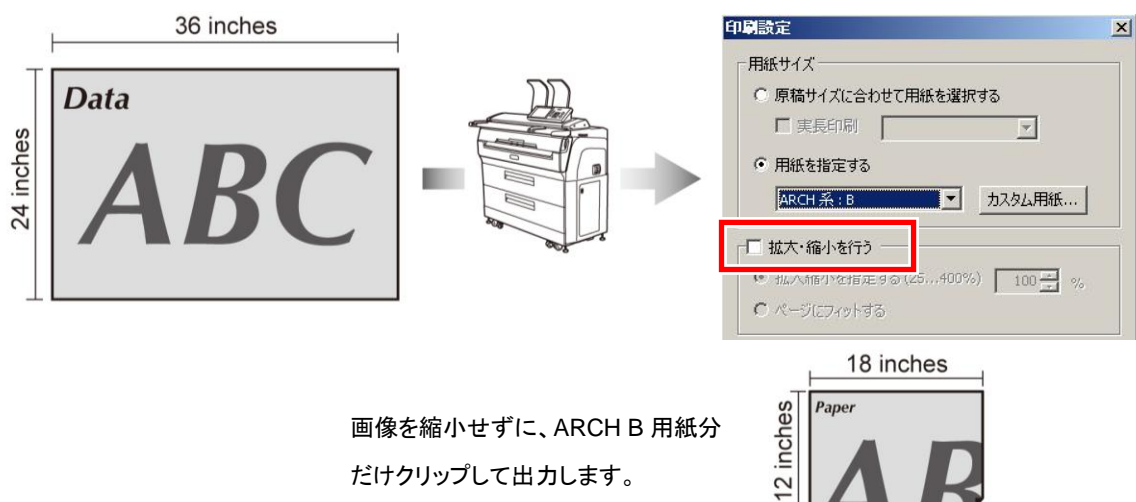
次に「拡大・縮小」にチェックを入れ、「ページにフィットする」にもチェックを入れます。



(2) 用紙を指定し、画像の拡大・縮小は行わない。

「用紙を指定する」にチェックを入れ、用紙サイズを選択します。

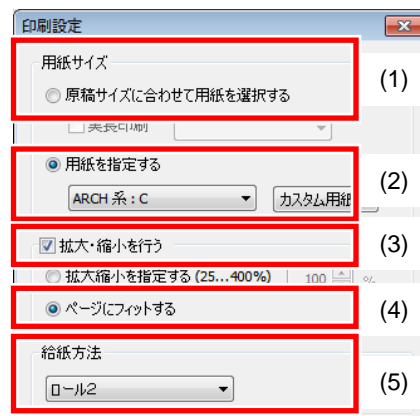
「拡大・縮小」にチェックを入れずに印刷します。



11.4 「ロール 2」の「18 inch ロール」で、ARCH 系列の定型サイズにフィットして印刷する場合

設定方法

- (1) 「用紙を指定する」を選択してください。
- (2) 出力したいロール紙幅の定型サイズに、「ARCH B」または「ARCH C」を設定してください。
- (3) 「拡大・縮小を行う」にチェックしてください。
- (4) 「ページにフィットする」を選択してください。
- (5) 給紙方法に「ロール 2」を設定してください。



注意

本機能は、次の条件をすべて満たしている場合に有効となります。

- ・ TerioStation の出力先が XPT/LPR 印刷であること。
(プリンタードライバー経由印刷の場合は、上記のような印刷設定をサポートしていません。)
- ・ 出力先設定の装置モデルが設定されていること。
- ・ TIFF ダイレクト印刷が選択されていないこと。
- ・ 印刷データファイル形式が PDF, TIFF または JPEG であること。
(HPGL ファイルの場合は、上記のような印刷設定をサポートしていません。)

